

平成 3 0 年度公共事業再評価に係る評価書の
要 旨
(案)

平成 3 0 年 9 月

宮 城 県

目 次

ページ

1 趣 旨	1
2 公共事業再評価について	1
(1) 公共事業再評価を行う目的	1
(2) 公共事業再評価の対象	1
(3) 公共事業再評価の基準及び評価の実施機関	1
(4) 公共事業再評価の流れ	2
3 公共事業再評価に係る評価書の概要	3

平成30年度公共事業再評価に係る評価書の要旨

1 趣旨

県では、平成14年度から行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号。以下「条例」という。）に基づいて公共事業再評価を実施しています。この書面は、条例第10条第2項及び同施行規則第28条の規定に基づき、県が現在実施している公共事業の中で、事業着手後、一定の期間を経過した事業等を対象に作成した評価書（県の評価結果）の内容について、県民の皆さまにわかりやすく説明するために作成したものです。

2 公共事業再評価について

（1）公共事業再評価を行う目的

公共事業の効率性及びその実施過程における透明性の向上を図るため、事業着手後、一定の期間を経過した事業等について、事業継続の妥当性について再検討を行うものです。

（2）公共事業再評価の対象

県が事業主体である公共事業のうち、次のいずれかに該当するものについて、評価の対象としています（災害の復旧又は防止のため、緊急に行う必要がある事業及び維持管理事業その他の現状の機能を確保するための事業は除きます。）。

- ① 事業着手年度から起算して5年度以内に用地買収又は工事のいずれも行われなかったことが見込まれる事業 (未着工)
- ② 事業着手年度から起算して10年度以内に完了が見込まれない事業 (未完了)
- ③ 再評価実施年度の翌年度から起算して5年度以内に、用地買収もしくは工事のいずれも行われなかったことが見込まれる事業又は完了が見込まれない事業 (再々評価)
- ④ 調査費が予算計上された年度から起算して5年度以内に事業着手が見込まれない事業（地域高規格道路事業及びダム事業に限る。） (未着手)
- ⑤ 社会経済情勢の変化等により再評価を実施する必要がある事業 (その他)

（3）公共事業再評価の基準及び評価の実施機関

県の担当部局において、下記基準に基づいて評価を行います。その際には、評価の客観性を確保するため、有識者で構成する宮城県行政評価委員会の意見を聴き、評価に反映します。また、広く県民からも意見を聴き、評価に反映する仕組みとなっています。

- ① 事業の進捗状況
- ② 事業を取り巻く社会経済情勢等の変化
- ③ 代替案との比較
- ④ コスト縮減
- ⑤ 費用対効果

(4) 公共事業再評価の流れ

①公共事業再評価調書（県の評価原案）の作成 【フロー図1, 2】

県は、公共事業再評価調書を作成して、公表します。

②宮城県行政評価委員会などからの意見聴取 【フロー図3～7】

上記①の県による評価の客観性を確保し、評価過程の透明性を高めるため、自ら評価した内容について、県民意見聴取を行うほか、宮城県行政評価委員会の意見を聴き、その意見を評価結果に適切に反映させることとしています。

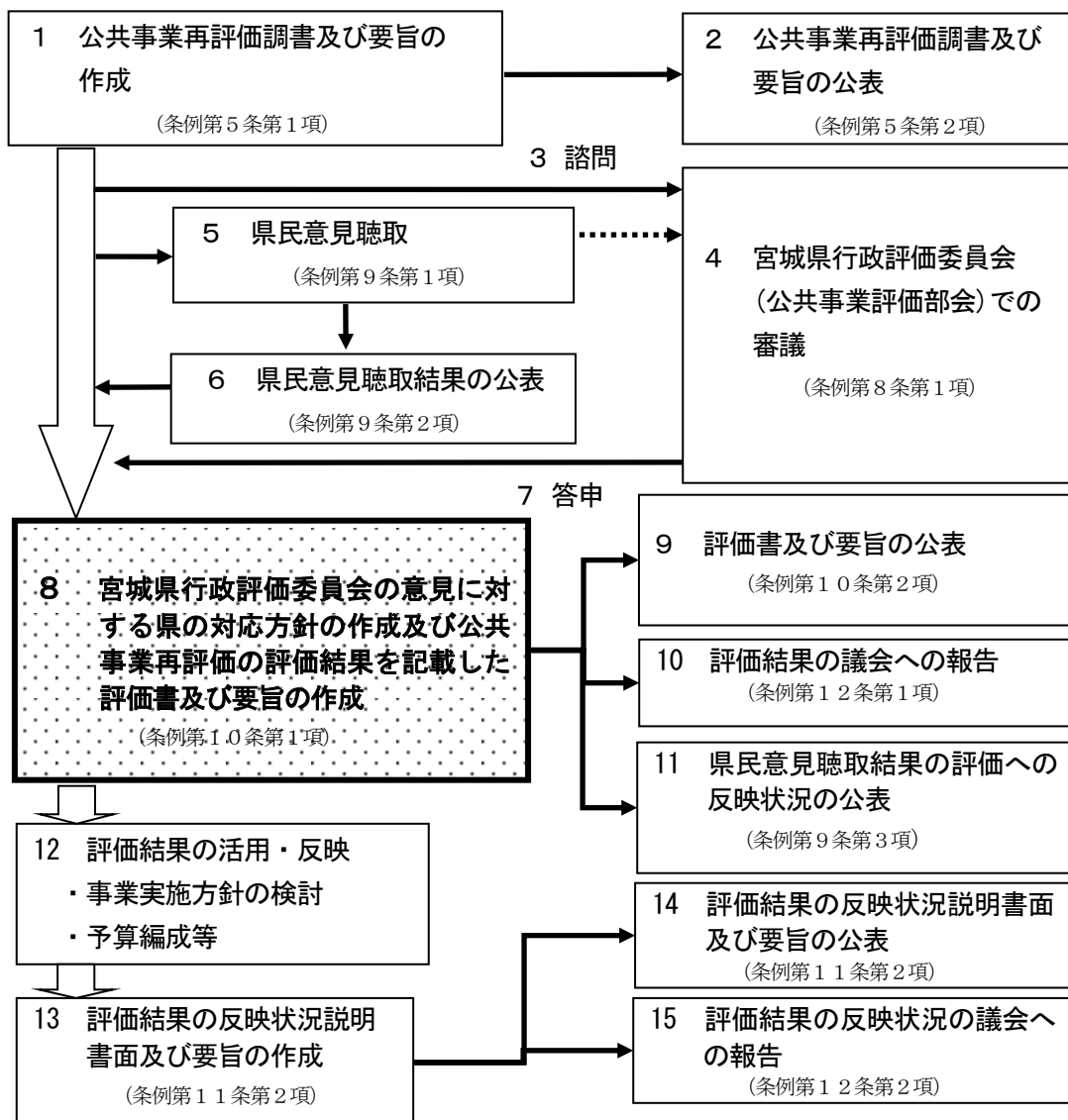
③県の対応方針と評価書の作成 【フロー図8～11】

その後、上記委員会の意見に対する県の対応方針と、それを踏まえた最終的な評価結果を記載した「評価書」を作成して公表するとともに、県議会に報告することとしています。

④反映状況を説明する書面の作成 【フロー図12～15】

評価結果については、翌年度以降の事業実施方針の検討及び翌年度の予算編成等を決定する際の情報として活用し、適切に反映させることとしています。反映状況を説明する書面は公表するとともに、県議会に報告することとしています。

《 フロー図 》



3 公共事業再評価に係る評価書の概要

番号	事業種別	事業名	事業目的・事業概要	全体事業費(億円)	進捗率(%)	再評価対象区分	行政評価委員会(公共事業評価部会)の意見	評価の結果
1	道路	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	三陸縦貫自動車道及び国道45号に接続し離島大島を結ぶ唯一のアクセス道路であり、災害時等の緊急避難路及び復興支援道路として整備を行うもの。 延長L=2.74km 車道幅員6.5m (全体幅員10.5m)	74.0	86.5	その他	継続妥当	事業継続
2	道路	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期(佐沼工区)道路改良事業	東北縦貫自動車道及び三陸縦貫自動車道とともに、広域交通ネットワークを形成し、沿道の自動車関連産業等の企業立地を支援する道路及び復興支援道路として整備を行うもの。 延長L=3.6km 車道幅員6.5m (全体幅員8.5m)	178.0	57.6	その他	継続妥当	事業継続

平成 3 0 年度公共事業再評価に係る評価書
(案)

平成 3 0 年 9 月

宮 城 県

評 価 書

平成30年9月
宮 城 県

平成30年度に行った公共事業再評価の結果は、以下のとおりである。

記

1 対象事業名

- ① 一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業
- ② 地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業

2 事業の概要 別紙のとおり

3 県民生活及び社会経済に対する効果並びに把握方法 別添1のとおり「事業の進捗状況」、「事業を取り巻く社会経済情勢等の変化」、「代替案との比較」、「コスト縮減」、「費用対効果」の項目で事業効果を把握した。

4 評価の経過

平成30年 6月18日 行政活動の評価に関する条例第5条の書面（評価調書）の確定
平成30年 6月19日 宮城県行政評価委員会への諮問
平成30年 6月19日 条例第9条に基づく県民意見聴取
～ 7月19日
平成30年 6月20日 同委員会公共事業評価部会（第1回開催）
平成30年 8月 8日 同委員会公共事業評価部会（第2回開催）
平成30年 8月24日 同委員会及び同委員会公共事業評価部会からの答申
平成30年 9月 3日 県の最終評価（評価書）の確定

5 行政評価委員会の意見

対象2事業を「事業継続」とした県の評価に対し、すべて「妥当」とした。
なお、次のとおり事業の実施に関する意見が付された。

今後の事業の実施に関する意見

事業全般

事業の計画及び実施に当たっては、コスト縮減に努めるとともに、事業費の見積り精度を高めるために、各関係機関との事前協議などの手続を十分に行うなどして、事前精査に努めること。

6 評価の結果

以下の事業を継続する。

- ① 一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業
 - ② 地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業
- （以上2事業）

評価の結果の詳細は、別添 1 のとおり。
なお、事業の実施に関する意見に対しては、以下のとおり対応する。

今後の事業の実施に関する意見

事業全般

事業の計画及び実施に当たっては、関係機関と密に調整を図るなどして、建設コストの縮減や事業費の事前精査に努めるとともに、みやぎスマイルロードプログラムの積極的な活用などにより維持管理コストについても更なる低減を図っていく。

事業概要一覧

番号	事業種別	事業名	事業 実施箇所	事業 採択 年度	完成 予定 年度	事業目的・事業概要	全 体 事業費 (億円)	進捗率 (%)
1	道 路	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	気仙沼市	H23	H31	三陸縦貫自動車道及び国道45号に接続し離島大島を結ぶ唯一のアクセス道路であり、災害時等の緊急避難路及び復興支援道路として整備を行うもの。 延長L=2.74km 車道幅員6.5m (全体幅員10.5m)	74.0	86.5
2	道 路	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期(佐沼工区)道路改良事業	登米市	H25	H32	東北縦貫自動車道及び三陸縦貫自動車道とともに、広域交通ネットワークを形成し、沿道の自動車関連産業等の企業立地を支援する道路及び復興支援道路として整備を行うもの。 延長L=3.6km 車道幅員6.5m (全体幅員8.5m)	178.0	57.6

評 価 結 果

- ① 一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業
- ② 地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）
道路改良事業

評価結果

		作成年月日		平成30年 9月 3日	
		事業担当課		道路課	
事業名	おおしまなみいた 一般県道大島浪板線 浪板工区道路改良事業	補助・交付金・ 単独の別	補助	事業主体	宮城県
施行地名	け せんぬま し なみいた 気仙沼市浪板地内	【位置図後掲】		管理主体	宮城県
根拠法令	道路法第56条				
事業概要	事業目的	<p>一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸縦貫自動車道の（仮称）大島IC、（仮称）気仙沼北IC及び国道45号と接続することにより震災復興、救急医療の確保及び地域間交流等に寄与する道路である。</p> <p>また、当該道路は浪板・大浦地区の防災集団移転団地へのアクセス道路であり気仙沼本土と離島大島を結ぶ唯一の道路でもあるため、津波浸水区域を避けた位置に計画しており、周辺地域における災害時等の緊急避難路及び復興支援道路として必要不可欠な道路である。</p>			
	事業内容				
	事業着手時 （平成23年度）	【計画概要】 延長 L=2.75km 道路幅員 W=6.0(10.0)m 全体事業費 C=40億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第3級 設計速度 50km/h 計画交通量 3,500台/日		
	再評価時 （平成27年度）	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=64億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～ 5,500台/日		
再々評価時 （平成30年度）	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,300～ 6,800台/日			
	【事業内容の変更状況とその要因】 （再々評価時） <ul style="list-style-type: none"> ・ 函渠施工において労働者不足によるプレキャスト製品への見直し及び地盤改良範囲等の変更（8.5億円） ・ 流用土の土質状況による盛土法面植生工法の変更（1.5億円） 				

事業費

	全体事業費		費用負担内訳			
		内用地費 及び 補償費	国 [50 %]	県 [50 %]	市町村 [- %]	その他 () [- %]
事業着手時 (平成23年度)	億円 40.0	億円 14.1	億円 20.0	億円 20.0	億円 -	億円 -
再評価時 (平成27年度)	億円 64.0	億円 28.2	億円 32.0	億円 32.0	億円 -	億円 -
再々評価時 (平成30年度)	億円 74.0	億円 28.2	億円 37.0	億円 37.0	億円 -	億円 -

事業

※事業費増加度（重点評価実施基準 指標4）

$$= (\text{再々評価時事業費} - \text{再評価時事業費}) / \text{再評価時事業費} = 15.6\% \\ (74.0 \text{ 億円} - 64.0 \text{ 億円}) / 64.0 \text{ 億円} = 0.156$$

概要

【事業費の変更状況とその要因】（再々評価時）

- ・ 函渠施工において労働者不足によるプレキャスト製品への見直し及び地盤改良範囲等の変更（8.5億円）
- ・ 流用土の土質状況による盛土法面植生工法の変更（1.5億円）

○事業費増減対照表

概要

	事業着手時 (平成23年度)		再評価時 (平成27年度)		再々評価 (平成30年度)		増減		変更の主な理由
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
本工事費		61.5% 24.6億円		51.9% 33.2億円		58.4% 43.2億円		100% 10.0億円	
道路改良工	2.8km	24.6億円	2.7km	33.2億円	2.7km	43.2億円		10.0億円	・ 函渠工の見直し等
測量及び試験費	一式	3.25% 1.3億円	一式	4.0% 2.6億円	一式	3.5% 2.6億円			
用地費及び補償費	一式	35.25% 14.1億円	一式	44.1% 28.2億円	一式	38.1% 28.2億円			
その他工事費等									
合計		100% 40億円		100% 64億円		100% 74億円		100% 10億円	

※増減は再々評価時と再評価時を比較したもの

事業の進捗状況 規則第24条第1号関係

○事業期間

事業着手時 (平成23年度)	再評価時 (平成27年度)	再々評価時 (平成30年度)
事業採択予定年度 H. 23年度	事業採択年度 H. 23年度	事業採択年度 H. 23年度
用地買収着手予定年度 H. 24年度	用地買収着手年度 H. 24年度	用地買収着手年度 H. 24年度
工事着手予定年度 H. 24年度	工事着手年度 H. 24年度	工事着手年度 H. 24年度
	計画変更実施(予定)年度	計画変更実施(予定)年度
完成予定年度 H. 29年度	完成予定年度 H. 30年度	完成予定年度 H. 31年度

・再々評価時の完成予定年度は、今回見直したもの。

(平成30年度に、完成予定年度を平成30年度から平成31年度へ見直し)

※事業停滞年数(重点評価実施基準指標1) = 0年

※事業工期延伸度(重点評価実施基準指標3) = (変更後予定事業期間) / (当初予定事業期間)
= 9 / 7 = 1.29

○進捗率

平成30年度までの		※(): 前回再評価時	
事業費	進捗率	内用地費 及び補償費	進捗率
(37.0億円)	(57.8%)	(18.9億円)	(67.0%)
64.0億円	86.5%	28.2億円	100%

※事業工程乖離度(重点評価基準指標2)

= (累加投資事業費 / 現全体事業費) - (累加年単純割額 / 現全体事業費)

= (64.0 / 74.0) - ((74.0 / 9 × 8) / 74.0) = Δ2.4%

【事業の進捗状況(順調でない場合にはその要因)】

現在、浪板地区や大浦地区の工事を進めており、これまで防災集団移転団地の浪板2地区や大浦地区に接続する一部を供用するなど、道路改良工事が進捗している。

一方、東八幡前地区の用地取得率は84%であるが、浪板地区周辺に一部未買収地が存在し改良工事の着手が遅れていることから、鋭意、用地交渉を進めている。

【今後の進捗の見込み(事業スケジュール表後掲)】

延長L=2.7kmのうち、浪板橋から(仮称)大島ICまでの1.7kmは平成30年、国道45号から浪板橋までの1kmは、平成30年度から道路改良工事に着手し、平成31年度の完成を予定している。

施設管理の予定・管理状況

事業区間の道路施設は宮城県が管理することになる。

なお、平成13年度から全県的に推進しているアドプト制度「みやぎスマイルロード・プログラム」※を活用し、清掃や緑化等の美化活動に努めていく。

※「みやぎスマイルロード・プログラム」

道路美化等のボランティア活動に意欲を持つ地域住民や企業を「スマイルサポーター」に認定し、スマイルサポーター・地元市町村・宮城県(道路管理者)の三者のパートナーシップにより県管理道路の一定区間の清掃や緑化等の美化活動、歩道の除雪などを実施する制度。

事業の概要

事業の必要性	上位計画等
	<p>①宮城県震災復興計画（平成23年10月策定） 「国道、県道の整備及び市町村道整備の支援」として、「沿岸部においては、離島振興のため大島架橋事業を進める」としている。</p> <p>②宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生実施計画（平成30年3月策定） 「主要幹線となる国道、県道の整備及び復興まちづくりと一体となった関連道路の整備」として、「沿岸部においては復興のシンボルである、気仙沼市の大島架橋の架橋事業を進める」としている。</p> <p>③気仙沼市震災復興計画（平成23年10月策定） 「大島架橋の整備」として、「災害時などの安全・安心の確保、日常生活の利便性向上及び産業・経済の振興等を図るため大島架橋を含む道路改良事業を促進します」としている。</p>
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等 規則第24条2号関係
	<p>○社会経済情勢 （一）大島浪板線の三陸縦貫自動車道（仮称）大島ICから大島浦の浜の区間については、県が整備を進めており、（仮称）大島ICから大島磯草（暫定接続）までは平成30年度、大島磯草（暫定接続）から大島浦の浜までは平成32年度の完成を予定している。 また、三陸縦貫自動車道については、国直轄事業として整備が進められ、平成30年度以降に（仮称）大島IC、（仮称）気仙沼北ICが供用される予定となっている。 ・現況交通（H27センサス） 1,014台/日（一）大島浪板線</p> <p>○地元情勢，地元の意見 （一）大島浪板線の現道は、線形が悪く幅員も狭いことから、道路整備を行う事で車両及び歩行者の安全が確保されることになる。 また、当該道路は、離島大島と国道45号を結ぶ道路であり、災害時の避難道路、防災集団移転団地への接続、三陸縦貫自動車道へのアクセス機能をもつなど、地域の防災力向上や交流人口の増加が期待されることから、地元からは早期完成が望まれている。 ※気仙沼大島架橋促進期成同盟会（会長 気仙沼市長） 平成22年3月18日提出 気仙沼大島架橋の早期整備に関する要望書</p>
事業の有効性	事業効果
	<p>○効果の発現状況 平成27年度に防災集団移転団地の浪板2区地区や大浦地区に接続する402mを供用しており、部分的ではあるものの現道幅員狭小部の危険が軽減するなど一部整備効果が見られる。</p> <p>○想定される事業効果</p> <p>①車両通行の安全の確保 現道（一）大島浪板線は狭隘でカーブも多く、車両の交互通行が困難な道路であり、当該道路の整備により車両及び歩行者の安全が確保される。</p> <p>②津波避難路としての機能 現道（一）大島浪板線は、東日本大震災時の津波により浸水被害を受けており、当該道路を津波浸水範囲外の内陸側に計画したことで、津波避難路としての機能が確保される。</p> <p>③離島大島からのアクセス確保 現道（一）大島浪板線は、離島大島から本土へのアクセス道路であり、離島の隔絶性が解消される。</p> <p>④三陸縦貫自動車道へのアクセス向上 現道（一）大島浪板線は、三陸縦貫自動車道ICへのアクセス道路であり、三陸復興国立公園などの観光資源へのアクセスや地域産業の物流ルートとしての利便性の向上が図られる。</p>

事業の効率的性	関連事業の概要・進捗状況等	
	<p>① (一) 大島浪板線の整備 ((仮称) 大島 I C ~ 大島浦の浜) : 事業主体 宮城県 平成 30 年度完成予定 (仮称) 大島 I C ~ 大島磯草 (暫定接続) 平成 32 年度完成予定 大島磯草 (暫定接続) ~ 大島浦の浜</p> <p>② 三陸縦貫自動車道の整備 : 事業主体 国土交通省 平成 30 年度以降完成予定</p>	
	代替案との比較検討	規則第 24 条第 3 号関係
	<p>住民説明会で概ねの合意を得て、平成 23 年度から平成 30 年度にかけて用地買収及び工事の進捗を図っており、代替案はない。</p>	
率	コスト削減計画	規則第 24 条第 4 号関係
	<p>道路建設のコスト削減については、以下の項目でコスト削減を図った。</p> <p>① 盛土材の見直し (前回) 当初、盛土材については購入土を用いることとしていたが、他事業と施工時期等の調整を行ったところ、発生土の受け入れが可能となり約 1.2 億円の削減を図っている。 【参考】 (当初) ・切土 28 万 m³、盛土 36 万 m³、購入土 8 万 m³ → (8 万 m³ × 2 千円 / m³ = 1.6 億円) (再評価時) ・切土 28 万 m³、盛土 36 万 m³、発生土 8 万 m³ → (8 万 m³ × 500 円 / m³ (運搬費) = 0.4 億円) ⇒ 1.2 億円のコスト削減</p> <p>道路計画にあたっては、近接する防災集団移転促進事業と調整を図り、道路と防災集団移転団地で発生する土工量の低減に配慮している。</p> <p>② 舗装設計の見直し (前回) 舗装の長寿命化 (耐用年数 10 年の設計 ⇒ 耐用年数 20 年の設計) を図ることで 20 年間における維持管理費の削減を図った。(91 百万円のコスト削減)</p> <p>③ 維持管理の見直し (今回) 雑草の繁殖を抑えるため法面端部 (法肩部、法尻部) に路肩コンクリートを設置し、除草の維持管理費を減らすことで 20 年で約 33 百万円のライフサイクルコストの削減を図る。</p>	

費用対効果 規則第24条第5号関係

根拠マニュアル：費用便益分析マニュアル（国土交通省 道路局 都市局）

(平成30年版)

社会的割引率： 4 %

便益算定期間： 50年

事業の効率的

区分	事業着手時 基準年(平成23年度)	再評価時 基準年(平成27年)		再々評価時 基準年(平成30年)		
	<全体>	<全体>	<残事業>	<全体>	<残事業>	
費用項目	建設費	38.8億円	60.6億円	25.4億円	70.0億円	9.3億円
	維持管理費	3.5億円	3.4億円	3.4億円	2.5億円	2.5億円
	総費用	42.3億円	64.0億円	28.8億円	72.5億円	11.8億円
	現在価値(C)	33.5億円	60.4億円	24.5億円	77.3億円	9.9億円
便益項目	走行時間短縮便益	157.0億円	143.0億円	143.0億円	162.7億円	162.7億円
	走行経費減少便益	19.5億円	19.3億円	19.3億円	22.8億円	22.8億円
	交通事故減少便益	4.0億円	6.4億円	6.4億円	4.5億円	4.5億円
	総便益	180.5億円	168.6億円	168.6億円	190.0億円	190.0億円
	現在価値(B)	63.9億円	68.3億円	68.3億円	83.8億円	83.8億円
費用便益比(B/C)		1.91	1.13	2.8	1.08	8.5

【便益の概要、主な算出根拠等】

- ・ 現況交通（H27センサス）1,014台/日
- ・ 計画交通量 4,300～6,800台/日

※算出便益

- 「走行時間短縮便益」：道路の整備の有無による総走行時間費用の差で表す便益
- 「走行経費減少便益」：道路の整備の有無による走行経費(燃料費や車両償却費等の走行条件により改善される経費)の差で表す便益
- 「交通事故減少便益」：道路の整備の有無による社会的損失(交通事故による人的、物的損失等)の差で表す便益

【前回評価時との違いの要因】

○全体事業費の増(64億円→74億円)

- ・ 現場条件の変更(函渠工)

当初、函渠工は現場打ちコンクリートで計画していたが、近年、鉄筋工や型枠工などの労働者不足が顕著となり、入札不調を防止し予定通り事業進捗を図るためプレキャスト製品を採用するもの。

また函渠部のボーリングを行った結果、当初想定より地盤が悪く改良範囲の見直しや工法変更が生じた。(8.5億円増)

- ・ 現場条件の変更(植生工)

当初、流用土盛土区間の法面については、搬出先の土質を確認した上で種子散布としていたが、搬出先の変更に伴い土質が変わったことから(細粒分が少ない岩・礫質土)植生基材吹付への変更が必要となった。(1.5億円増)

- ・ 労働者不足や植生工の変更については、平成27年度(再評価時点)で予測することが出来なかった。

環境への影響と対策	地域指定状況等
	特になし
	影響と対策
	道路改良の法面において緑化を行う。 低騒音振動重機の使用により騒音・振動を低減し、周辺環境に配慮する。

再 評 価 部 会 意 見 へ の 対 応 状 況	再評価実施状況		
	再評価実施年度	平成27年度	
	答 申	答 申	継続妥当
		条 件	なし
		別紙意見	<p>1 審議対象事業の実施に関する意見 今後の建設工事に当たっては、復興支援道路をはじめとする当該事業の目的を踏まえた迅速な施工を行い、早期完成に努めること。</p> <p>2 今後の事業実施に関する意見 今後とも、公共事業の実施に当たっては、必要とされる機能や仕様を十分に精査し、コストの縮減に努めること。 また、費用便益の分析に当たっては、国のマニュアル等を参考にすることでなく、個別事業の内容に即した分析を加えるなど、その妥当性の確保に努めること。 併せて、公共事業の進捗に当たっての地元との調整時期など、今回の事業実施に際して判明した課題については、他の事業の参考となるよう、要因の分析を行うとともに、情報の共有を図ること。</p>
	評 価 結 果	評価結果	事業継続
		対応方針	なし
		別紙意見 に対する 対応方針	<p>1 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針 今後の建設工事に当たっては、復興支援道路をはじめとする当該事業の目的を踏まえ、引き続き、迅速な施工を行い、早期完成に努める。</p> <p>2 今後の事業実施に関する意見への対応方針 今後とも、公共事業の実施に当たっては、必要とされる構造物の規模や仕様を十分に精査するなどコスト縮減に努める。 また、費用便益の分析については、国のマニュアル等を参考にすることでなく、個別事業の内容に即した追加の費用や便益の計上可能性等を検討した上で分析を行い、その妥当性の確保に努める。 さらに、今回の復興事業のように、複数の事業が関連する場合に早期に地元計画を示すためには、あらかじめ将来のまちづくりの青写真等について住民合意を得ておくことの重要性を確認したことから、今後の事業の参考となるよう情報の共有を図る。</p>

再 評 価 部 会 意 見 へ の 対 応 状 況	現在の対応状況		
	<p>1 審議対象事業の実施に関する意見への対応状況 防災集団移転団地アクセス区間（浪板2区地区・大浦地区）については、平成27年度に供用しており、地域住民の生活に欠かせない道路となっている。 また、浪板橋から大島磯草（暫定接続）までについては、平成30年度完成を目指し、土工や舗装工などの進捗を図っている。 残る国道45号から浪板橋までの区間については、近接している三陸縦貫自動車道や災害復旧工事などと工程調整を行い、早期完成に向け工事の進捗を図っている。</p> <p>2 今後の事業実施に関する意見への対応状況 （1）コスト縮減 県が実施する公共事業では、建設発生土の有効利用やライフサイクルコスト縮減を考慮した構造の見直し、アスファルト舗装の長寿命化（耐用年数20年の設計）などによるコストの縮減を図っている。 なお、今後実施する事業では、新技術の活用による効率性や品質などを向上することで工期短縮やライフサイクルコスト縮減を図り、事業のコスト縮減に努めていく。</p> <p>（2）費用便益 費用便益については、「走行時間短縮」「走行経費減少」「交通事故減少」3項目のみの条件のもと、定量的に算出を行っている。 なお、今後実施する事業では、観光客の増加や医療施設へのアクセス向上などが考えられることから、各事業の目的に沿った項目を検討していく。</p> <p>（3）情報の共有 道路や河川の災害復旧や気仙沼市の区画整理など複数の事業が進められており、県と市・施工業者による「鹿折川東八幡前地区及び浪板関係者工事調整会」で各事業の情報共有を図るとともに、地域住民を対象とした工事説明会等で事業計画や進捗状況などの情報提供を行っている。 なお、今後実施する事業では、更にきめ細やかに地域住民に事業の周知を図るよう努める。</p>		
総合評価	<table border="1"> <tr> <td>対応方針</td> </tr> <tr> <td>事業継続</td> </tr> </table>	対応方針	事業継続
対応方針			
事業継続			

○事業スケジュール表
 (一) 大島浪板線浪板工区道路改良事業

項目	年度									
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
調査・設計	■									
	■									
	■									
用地補償		■								
		■								
		■								
工事		■								
		■								
		■								

事業着手時	■
再評価時	■
再々評価時	■

- ・用地補償
 地権者の移転先の造成、建築に時間を要し、やむをえず用地補償期間を延期している。
- ・工事
 用地移転に不測の時間を要していることから、工事完成時期を平成30年度から平成31年度としている。

事業スケジュール表

位



置



図

(参考資料 1)

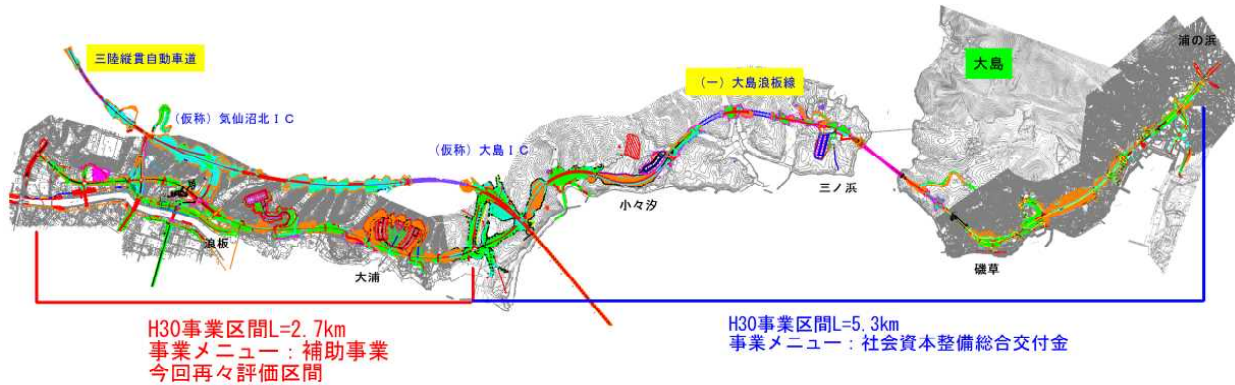
事業概要図

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
------------	---------------------	-------------	----------

○概要図

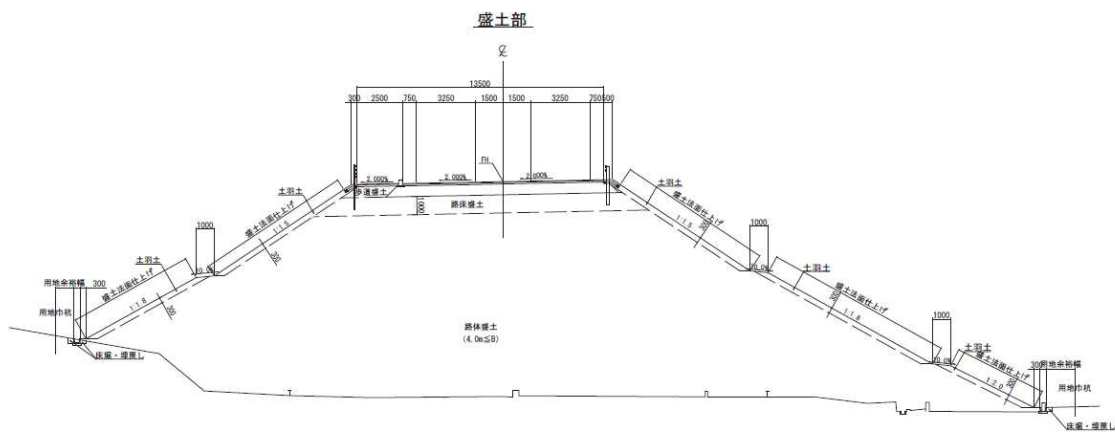
平面図

■一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業工区について



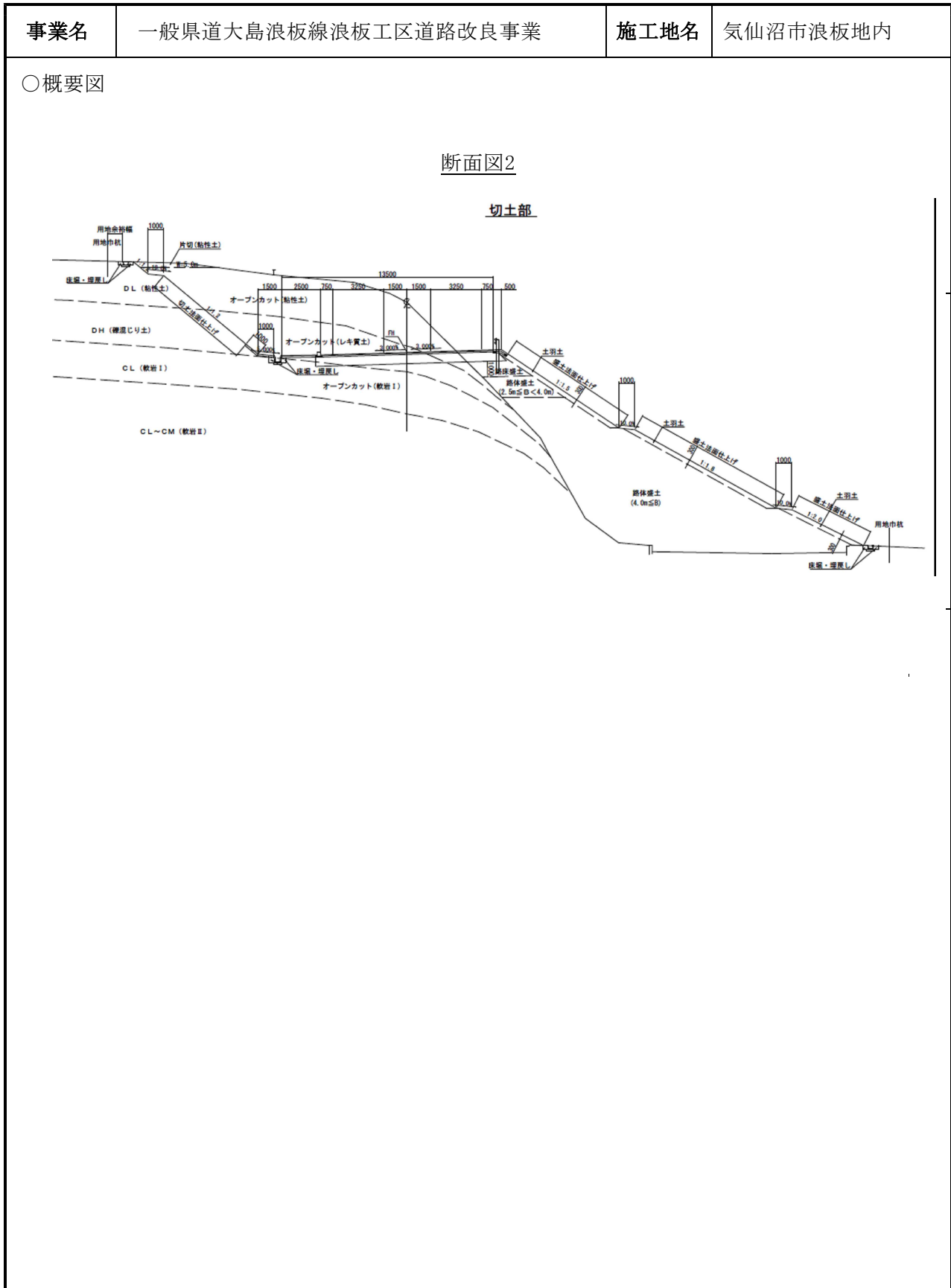
※事業再々評価該当箇所は「補助事業のL=2.7km」となる

断面図 1



(参考資料 1)

事業概要図



(参考資料 2)

事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
-----	---------------------	------	----------

○路線図



○起点部（写真左。北から南を望む）及び終点部（写真右。東から西を望む）



(参考資料 2)

事業施行状況等

<p>事業名</p>	<p>一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業</p>	<p>施工地名</p>	<p>気仙沼市浪板地内</p>
<p>○現道状況（すれ違い困難状況）</p>			
			
<p>○施工状況</p>			
<p>・浪板地区（浪板橋付近）函渠工 実施状況</p>			
			
<p>・浪板地区（防災集団移転団地 浪板2区地区付近）土工 実施状況</p>			
			

(参考資料2)

事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
<ul style="list-style-type: none"> ・大浦地区（防災集団移転団地 大浦地区付近）供用部 			
			
<ul style="list-style-type: none"> ・大浦地区（（仮）大島IC付近）函渠工 実施状況（三陸道事業） 			
			
<p>【参考】交付金工区の状況</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・小々汐地区（小々汐漁港付近）土工完了 			
			

(参考資料 2)

事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
<p data-bbox="204 376 970 409">・小々汐地区（防災集団移転団地 小々汐地区付近）供用部</p>  <p data-bbox="204 902 555 936">・浦島 2 号トンネル 供用部</p>  <p data-bbox="204 1429 740 1462">・三ノ浜地区（架橋部付近）路盤施工状況</p> 			

(参考資料2)

事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
<p data-bbox="188 412 580 443">・大島架橋本体工事 架設完了</p>  <p data-bbox="188 1218 740 1249">・大島磯草（暫定接続） 準備工施工状況</p> 			

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拠・B P・その他の別
(一) 大島浪板線	大島架橋(補助区間)	L=2.7km		B P

計画交通量(台/日)	車線数	事業主体
4,300~6,800	2	宮城県

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	70億円	2.5億円	72億円
うち残事業分	9.3億円	2.5億円	12億円
基準年における現在価値(C)	76億円	1.0億円	77億円
うち残事業分	8.9億円	1.0億円	10億円

② 便益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成32年度			
単年便益(初年便益)	3.9億円	0.54億円	0.11億円	4.6億円
基準年における現在価値(B)	72億円	10億円	2.0億円	84億円
うち残事業分	72億円	10億円	2.0億円	84億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.08
経済的純現在価値(B-C)	6.4億円
経済的內部収益率(EIRR)	4.4%
費用便益比(残事業)	8.4
経済的純現在価値(残事業)	74億円
経済的內部収益率(残事業)	48.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(事業全体)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	4,300~6,800(台/日)	±10%	1.0~1.2
事業費	70億円	±10%	1.0~1.2
事業期間	9年	±2年	1.0~1.2

④ 感度分析(残事業)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	4,300~6,800(台/日)	±10%	7.4~9.0
事業費	9億円	±10%	7.5~9.0
事業期間	1年	±1年	7.8~-

交通状況の変化

様式-3①

事業名:(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))

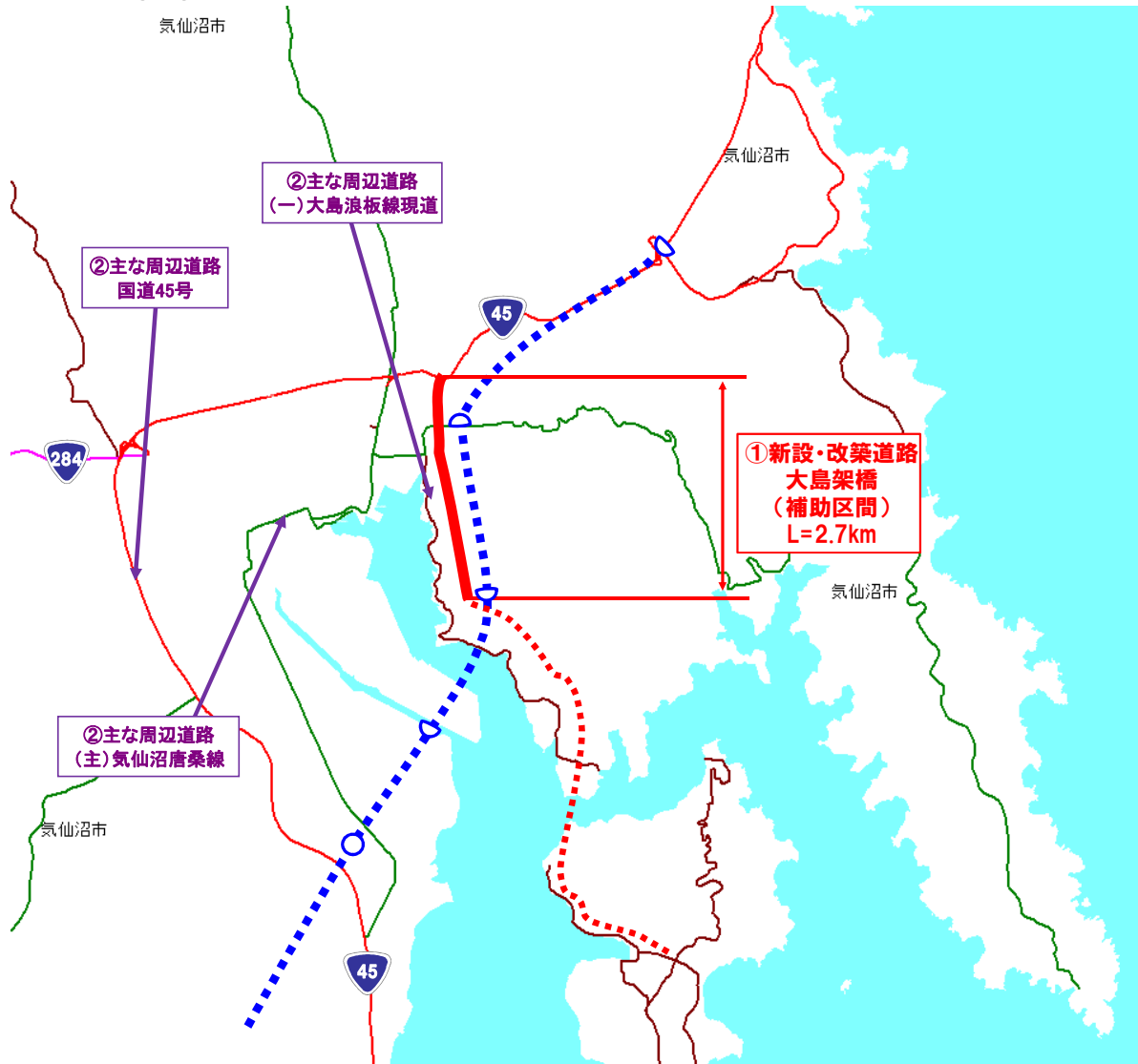
(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (大島架橋(補助区間)) 延長:2.7km		交通量 ^{※1}	[台/日]	0	6,200
		走行時間 ^{※2}	[分]	0	4
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	4.08
②主な 周辺道路	(一)大島浪板線現道 :2.5km	交通量	[台/日]	4,400	0
		走行時間	[分]	5	0
		走行時間費用	[億円/年]	3.87	0.00
	国道45号 :4.6km	交通量	[台/日]	7,500	7,100
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	8.64	8.10
	(主)気仙沼唐桑線 :1.3km	交通量	[台/日]	12,000	11,400
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	5.65	5.26
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 :244.2km		走行時間費用	[億円/年]	191.62	188.64

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間 短縮便益 (A-B)
合計:255.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	209.77	206.08	3.69

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：(一) 大島浪板線(大島架橋(補助区間))

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他(各回の配分開始時の速度を交通量でウェイト付けして設定)		<input checked="" type="checkbox"/>

事業名:(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他				
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮する場合のみ	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
			事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.020	2.70	0.05

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-9年目	H 23	1.3159	99.8	0.57	0.77		
-8年目	H 24	1.2653	99.0	2.87	3.78		
-7年目	H 25	1.2167	99.0	11.39	14.39		
-6年目	H 26	1.1699	101.5	10.94	12.96		
-5年目	H 27	1.1249	103.0	9.41	10.56		
-4年目	H 28	1.0816	102.8	12.99	14.05		
-3年目	H 29	1.0400	102.8	9.91	10.30		
-2年目	H 30	1.0000	102.8	2.54	2.54		
-1年目	H 31	0.9615	102.8	9.26	8.90		
供用開始年次	H 32	0.9246	102.8			0.05	0.05
1年目	H 33	0.8890	102.8			0.05	0.04
2年目	H 34	0.8548	102.8			0.05	0.04
3年目	H 35	0.8219	102.8			0.05	0.04
4年目	H 36	0.7903	102.8			0.05	0.04
5年目	H 37	0.7599	102.8			0.05	0.04
6年目	H 38	0.7307	102.8			0.05	0.04
7年目	H 39	0.7026	102.8			0.05	0.04
8年目	H 40	0.6756	102.8			0.05	0.03
9年目	H 41	0.6496	102.8			0.05	0.03
10年目	H 42	0.6246	102.8			0.05	0.03
11年目	H 43	0.6006	102.8			0.05	0.03
12年目	H 44	0.5775	102.8			0.05	0.03
13年目	H 45	0.5553	102.8			0.05	0.03
14年目	H 46	0.5339	102.8			0.05	0.03
15年目	H 47	0.5134	102.8			0.05	0.03
16年目	H 48	0.4936	102.8			0.05	0.02
17年目	H 49	0.4746	102.8			0.05	0.02
18年目	H 50	0.4564	102.8			0.05	0.02
19年目	H 51	0.4388	102.8			0.05	0.02
20年目	H 52	0.4220	102.8			0.05	0.02
21年目	H 53	0.4057	102.8			0.05	0.02
22年目	H 54	0.3901	102.8			0.05	0.02
23年目	H 55	0.3751	102.8			0.05	0.02
24年目	H 56	0.3607	102.8			0.05	0.02
25年目	H 57	0.3468	102.8			0.05	0.02
26年目	H 58	0.3335	102.8			0.05	0.02
27年目	H 59	0.3207	102.8			0.05	0.02
28年目	H 60	0.3083	102.8			0.05	0.02
29年目	H 61	0.2965	102.8			0.05	0.01
30年目	H 62	0.2851	102.8			0.05	0.01
31年目	H 63	0.2741	102.8			0.05	0.01
32年目	H 64	0.2636	102.8			0.05	0.01
33年目	H 65	0.2534	102.8			0.05	0.01
34年目	H 66	0.2437	102.8			0.05	0.01
35年目	H 67	0.2343	102.8			0.05	0.01
36年目	H 68	0.2253	102.8			0.05	0.01
37年目	H 69	0.2166	102.8			0.05	0.01
38年目	H 70	0.2083	102.8			0.05	0.01
39年目	H 71	0.2003	102.8			0.05	0.01
40年目	H 72	0.1926	102.8			0.05	0.01
41年目	H 73	0.1852	102.8			0.05	0.01
42年目	H 74	0.1780	102.8			0.05	0.01
43年目	H 75	0.1712	102.8			0.05	0.01
44年目	H 76	0.1646	102.8			0.05	0.01
45年目	H 77	0.1583	102.8			0.05	0.01
46年目	H 78	0.1522	102.8			0.05	0.01
47年目	H 79	0.1463	102.8			0.05	0.01
48年目	H 80	0.1407	102.8			0.05	0.01
49年目	H 81	0.1353	102.8	-14.16	-1.92	0.05	0.01
合計				55.72	76.35	2.50	1.03
単純事業費計				69.88		2.50	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.020	2.70	0.05	0.05
-9年目	H 23	1.3159	99.8	0.00	0.00		
-8年目	H 24	1.2653	99.0	0.00	0.00		
-7年目	H 25	1.2167	99.0	0.00	0.00		
-6年目	H 26	1.1699	101.5	0.00	0.00		
-5年目	H 27	1.1249	103.0	0.00	0.00		
-4年目	H 28	1.0816	102.8	0.00	0.00		
-3年目	H 29	1.0400	102.8	0.00	0.00		
-2年目	H 30	1.0000	102.8	0.00	0.00		
-1年目	H 31	0.9615	102.8	9.26	8.90		
供用開始年次	H 32	0.9246	102.8			0.05	0.05
1年目	H 33	0.8890	102.8			0.05	0.04
2年目	H 34	0.8548	102.8			0.05	0.04
3年目	H 35	0.8219	102.8			0.05	0.04
4年目	H 36	0.7903	102.8			0.05	0.04
5年目	H 37	0.7599	102.8			0.05	0.04
6年目	H 38	0.7307	102.8			0.05	0.04
7年目	H 39	0.7026	102.8			0.05	0.04
8年目	H 40	0.6756	102.8			0.05	0.03
9年目	H 41	0.6496	102.8			0.05	0.03
10年目	H 42	0.6246	102.8			0.05	0.03
11年目	H 43	0.6006	102.8			0.05	0.03
12年目	H 44	0.5775	102.8			0.05	0.03
13年目	H 45	0.5553	102.8			0.05	0.03
14年目	H 46	0.5339	102.8			0.05	0.03
15年目	H 47	0.5134	102.8			0.05	0.03
16年目	H 48	0.4936	102.8			0.05	0.02
17年目	H 49	0.4746	102.8			0.05	0.02
18年目	H 50	0.4564	102.8			0.05	0.02
19年目	H 51	0.4388	102.8			0.05	0.02
20年目	H 52	0.4220	102.8			0.05	0.02
21年目	H 53	0.4057	102.8			0.05	0.02
22年目	H 54	0.3901	102.8			0.05	0.02
23年目	H 55	0.3751	102.8			0.05	0.02
24年目	H 56	0.3607	102.8			0.05	0.02
25年目	H 57	0.3468	102.8			0.05	0.02
26年目	H 58	0.3335	102.8			0.05	0.02
27年目	H 59	0.3207	102.8			0.05	0.02
28年目	H 60	0.3083	102.8			0.05	0.02
29年目	H 61	0.2965	102.8			0.05	0.01
30年目	H 62	0.2851	102.8			0.05	0.01
31年目	H 63	0.2741	102.8			0.05	0.01
32年目	H 64	0.2636	102.8			0.05	0.01
33年目	H 65	0.2534	102.8			0.05	0.01
34年目	H 66	0.2437	102.8			0.05	0.01
35年目	H 67	0.2343	102.8			0.05	0.01
36年目	H 68	0.2253	102.8			0.05	0.01
37年目	H 69	0.2166	102.8			0.05	0.01
38年目	H 70	0.2083	102.8			0.05	0.01
39年目	H 71	0.2003	102.8			0.05	0.01
40年目	H 72	0.1926	102.8			0.05	0.01
41年目	H 73	0.1852	102.8			0.05	0.01
42年目	H 74	0.1780	102.8			0.05	0.01
43年目	H 75	0.1712	102.8			0.05	0.01
44年目	H 76	0.1646	102.8			0.05	0.01
45年目	H 77	0.1583	102.8			0.05	0.01
46年目	H 78	0.1522	102.8			0.05	0.01
47年目	H 79	0.1463	102.8			0.05	0.01
48年目	H 80	0.1407	102.8			0.05	0.01
49年目	H 81	0.1353	102.8	0.00	0.00	0.05	0.01
合計				9.26	8.90	2.50	1.03
単純事業費計				9.26		2.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式記入上の留意点

1. 再評価の場合、残事業分、残事業分それぞれ作成する。

様式-5

箇所名：(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))(事業全体)

便益の現在価値算定表

年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (南東北7中)					割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
	年次 供用開始年次	乗用車種	小型貨物	普通貨物	全車		乗用車種	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 (①)×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 (③)×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
H30	32	0.99042	0.98490	1.00356	0.99568	0.9246	2.13	1.16	0.63	3.92	3.63	0.32	0.13	0.10	0.54	0.50	0.11	0.10	4.57	4.23
H31	33	0.99640	0.98466	1.00355	0.99566	0.8890	2.12	1.14	0.63	3.90	3.47	0.32	0.13	0.10	0.54	0.48	0.11	0.09	4.55	4.04
H32	34	0.99639	0.98443	1.00353	0.99564	0.8548	2.12	1.13	0.63	3.88	3.31	0.32	0.13	0.10	0.54	0.46	0.11	0.09	4.52	3.86
H33	35	0.99638	0.98418	1.00352	0.99562	0.8219	2.11	1.11	0.64	3.85	3.17	0.31	0.13	0.10	0.54	0.44	0.11	0.09	4.49	3.69
H34	36	0.99637	0.98393	1.00351	0.99560	0.7903	2.10	1.09	0.64	3.83	3.03	0.31	0.12	0.10	0.53	0.42	0.11	0.08	4.47	3.53
H35	37	0.99635	0.98366	1.00350	0.99558	0.7599	2.09	1.07	0.64	3.81	2.89	0.31	0.12	0.10	0.53	0.40	0.10	0.08	4.44	3.38
H36	38	0.99634	0.98339	1.00348	0.99556	0.7307	2.09	1.06	0.64	3.78	2.77	0.31	0.12	0.10	0.53	0.39	0.10	0.08	4.42	3.23
H37	39	0.99633	0.98311	1.00347	0.99554	0.7026	2.08	1.04	0.64	3.76	2.64	0.31	0.12	0.10	0.52	0.37	0.10	0.07	4.39	3.08
H38	40	0.99631	0.98282	1.00346	0.99552	0.6756	2.07	1.02	0.65	3.74	2.53	0.31	0.12	0.10	0.52	0.35	0.10	0.07	4.36	2.95
H39	41	0.99630	0.98252	1.00345	0.99550	0.6496	2.06	1.00	0.65	3.72	2.41	0.31	0.11	0.10	0.52	0.34	0.10	0.07	4.34	2.82
H40	42	0.99076	0.99086	0.99743	0.99176	0.6246	2.06	0.99	0.65	3.69	2.31	0.31	0.11	0.10	0.52	0.31	0.10	0.06	4.31	2.69
H41	43	0.99068	0.99077	0.99742	0.99169	0.6006	2.04	0.98	0.65	3.66	2.20	0.30	0.11	0.10	0.51	0.31	0.10	0.06	4.28	2.57
H42	44	0.99059	0.99069	0.99741	0.99162	0.5775	2.02	0.97	0.65	3.63	2.10	0.30	0.11	0.10	0.51	0.29	0.10	0.06	4.24	2.45
H43	45	0.99050	0.99060	0.99741	0.99155	0.5553	2.00	0.96	0.65	3.60	2.00	0.30	0.11	0.10	0.50	0.28	0.10	0.06	4.21	2.34
H44	46	0.99041	0.99051	0.99740	0.99148	0.5339	1.98	0.95	0.64	3.57	1.91	0.29	0.11	0.10	0.50	0.27	0.10	0.05	4.17	2.23
H45	47	0.99031	0.99042	0.99739	0.99141	0.5134	1.96	0.94	0.64	3.54	1.82	0.29	0.11	0.10	0.50	0.25	0.10	0.05	4.14	2.12
H46	48	0.99022	0.99033	0.99739	0.99133	0.4936	1.94	0.93	0.64	3.51	1.73	0.29	0.11	0.10	0.49	0.24	0.10	0.05	4.10	2.03
H47	49	0.99012	0.99023	0.99738	0.99126	0.4746	1.92	0.92	0.64	3.48	1.65	0.29	0.10	0.10	0.49	0.23	0.10	0.05	4.07	1.93
H48	50	0.99002	0.99014	0.99737	0.99118	0.4564	1.90	0.91	0.64	3.46	1.58	0.28	0.10	0.10	0.48	0.22	0.10	0.04	4.03	1.84
H49	51	0.98992	0.99004	0.99736	0.99110	0.4388	1.88	0.91	0.64	3.43	1.50	0.28	0.10	0.10	0.48	0.21	0.09	0.04	4.00	1.76
H50	52	0.98982	0.98994	0.99736	0.99102	0.4220	1.87	0.90	0.63	3.40	1.43	0.28	0.10	0.10	0.48	0.20	0.09	0.04	3.96	1.67
H51	53	0.98972	0.98984	0.99735	0.99094	0.4057	1.85	0.89	0.63	3.37	1.37	0.28	0.10	0.10	0.47	0.19	0.09	0.04	3.93	1.59
H52	54	0.98961	0.98973	0.99734	0.99086	0.3901	1.83	0.88	0.63	3.34	1.30	0.27	0.10	0.10	0.47	0.18	0.09	0.04	3.90	1.52
H53	55	0.98950	0.98963	0.99734	0.99077	0.3751	1.81	0.87	0.63	3.31	1.24	0.27	0.10	0.10	0.46	0.17	0.09	0.03	3.86	1.45
H54	56	0.98939	0.98952	0.99733	0.99069	0.3607	1.79	0.86	0.63	3.28	1.18	0.27	0.10	0.10	0.46	0.17	0.09	0.03	3.83	1.38
H55	57	0.98928	0.98941	0.99732	0.99060	0.3468	1.77	0.85	0.63	3.25	1.13	0.26	0.10	0.09	0.45	0.16	0.09	0.03	3.79	1.32
H56	58	0.98916	0.98929	0.99731	0.99051	0.3335	1.75	0.84	0.62	3.22	1.07	0.26	0.10	0.09	0.45	0.15	0.09	0.03	3.76	1.25
H57	59	0.98904	0.98918	0.99731	0.99042	0.3207	1.73	0.83	0.62	3.19	1.02	0.26	0.09	0.09	0.45	0.14	0.09	0.03	3.72	1.19
H58	60	0.98892	0.98906	0.99730	0.99033	0.3083	1.71	0.82	0.62	3.16	0.97	0.26	0.09	0.09	0.44	0.14	0.09	0.03	3.69	1.14
H59	61	0.98879	0.98894	0.99729	0.99023	0.2965	1.69	0.82	0.62	3.13	0.93	0.25	0.09	0.09	0.44	0.13	0.09	0.03	3.65	1.08
H60	62	0.98867	0.98881	0.99729	0.99014	0.2851	1.68	0.81	0.62	3.10	0.88	0.25	0.09	0.09	0.43	0.12	0.09	0.02	3.62	1.03
H61	63	0.98854	0.98869	0.99728	0.99004	0.2741	1.66	0.80	0.62	3.07	0.84	0.25	0.09	0.09	0.43	0.12	0.08	0.02	3.58	0.98
H62	64	0.98840	0.98856	0.99727	0.98994	0.2636	1.64	0.79	0.61	3.04	0.80	0.24	0.09	0.09	0.42	0.11	0.08	0.02	3.55	0.94
H63	65	0.98827	0.98843	0.99726	0.98984	0.2534	1.62	0.78	0.61	3.01	0.76	0.24	0.09	0.09	0.42	0.11	0.08	0.02	3.51	0.89
H64	66	0.98813	0.98829	0.99726	0.98973	0.2437	1.60	0.77	0.61	2.98	0.73	0.24	0.09	0.09	0.42	0.10	0.08	0.02	3.48	0.85
H65	67	0.98799	0.98815	0.99725	0.98963	0.2343	1.58	0.76	0.61	2.95	0.69	0.24	0.09	0.09	0.41	0.10	0.08	0.02	3.45	0.81
H66	68	0.98784	0.98801	0.99724	0.98952	0.2253	1.56	0.75	0.61	2.92	0.66	0.23	0.08	0.09	0.41	0.09	0.08	0.02	3.41	0.77
H67	69	0.98769	0.98786	0.99723	0.98941	0.2166	1.54	0.74	0.61	2.89	0.63	0.23	0.08	0.09	0.41	0.09	0.08	0.02	3.38	0.73
H68	70	0.98754	0.98771	0.99723	0.98929	0.2083	1.52	0.73	0.60	2.86	0.60	0.23	0.08	0.09	0.40	0.08	0.08	0.02	3.34	0.70
H69	71	0.98738	0.98756	0.99722	0.98918	0.2003	1.50	0.72	0.60	2.83	0.57	0.22	0.08	0.09	0.40	0.08	0.08	0.02	3.31	0.66
H70	72	0.98722	0.98740	0.99721	0.98906	0.1926	1.49	0.72	0.60	2.80	0.54	0.22	0.08	0.09	0.39	0.08	0.08	0.01	3.27	0.63
H71	73	0.98705	0.98724	0.99720	0.98894	0.1852	1.47	0.71	0.60	2.77	0.51	0.22	0.08	0.09	0.39	0.07	0.08	0.01	3.24	0.60
H72	74	0.98688	0.98708	0.99719	0.98881	0.1780	1.45	0.70	0.60	2.74	0.49	0.22	0.08	0.09	0.39	0.07	0.08	0.01	3.20	0.57
H73	75	0.98671	0.98691	0.99719	0.98869	0.1712	1.43	0.69	0.60	2.71	0.46	0.21	0.08	0.09	0.38	0.07	0.07	0.01	3.17	0.54
H74	76	0.98653	0.98674	0.99718	0.98856	0.1646	1.41	0.68	0.59	2.68	0.44	0.21	0.08	0.09	0.38	0.06	0.07	0.01	3.13	0.52
H75	77	0.98635	0.98656	0.99717	0.98842	0.1583	1.39	0.67	0.59	2.65	0.42	0.21	0.08	0.09	0.37	0.06	0.07	0.01	3.10	0.49
H76	78	0.98616	0.98638	0.99716	0.98829	0.1522	1.37	0.66	0.59	2.62	0.40	0.20	0.07	0.09	0.37	0.06	0.07	0.01	3.06	0.47
H77	79	0.98596	0.98619	0.99715	0.98815	0.1463	1.35	0.65	0.59	2.59	0.38	0.20	0.07	0.09	0.36	0.05	0.07	0.01	3.03	0.44
H78	80	0.98576	0.98599	0.99715	0.98801	0.1407	1.33	0.64	0.59	2.56	0.36	0.20	0.07	0.09	0.36	0.05	0.07	0.01	3.00	0.42
H79	81	0.98556	0.98579	0.99714	0.98786	0.1353	1.31	0.63	0.59	2.54	0.34	0.20	0.07	0.09	0.36	0.05	0.07	0.01	2.96	0.40
合計							88338	43225	31111	16274	7179	13116	4889	472	2277	1003	448	198	18999	8379

B様式-6

走行時間短縮(年間)便益算定表

箇所名:(-)大島浪板線(大島架橋(補助区間))

項 目	リンク延長 km	整備なしの走行時間費用				整備ありの走行時間費用				走行時間短縮便益			
		交通量 Qo(台)	走行時間 To(分)	時間価値 (円/台・分)	費用 BT(億円)	交通量 Qw(台)	走行時間 Tw(分)	時間価値 (円/台・分)	費用 BTw(億円)	交通量 ΔQ(台)	走行時間 ΔT(分)	便益 BT(億円)	
リンク1	乗用類	0.65km				0.00	2,503	0.87	45.78	0.36	-2,503	-0.87	-0.36
	小型貨物					0.00	948	0.87	47.91	0.14	-948	-0.87	-0.14
	普通貨物車					0.00	875	0.87	64.18	0.18	-875	-0.87	-0.18
	計					0.00	4,326	45.0km/h	—	0.68	-4,326	45.0km/h	-0.68
リンク2	乗用類	0.25km				0.00	3,924	0.34	45.78	0.22	-3,924	-0.34	-0.22
	小型貨物					0.00	1,140	0.34	47.91	0.07	-1,140	-0.34	-0.07
	普通貨物車					0.00	955	0.34	64.18	0.08	-955	-0.34	-0.08
	計					0.00	6,019	43.9km/h	—	0.37	-6,019	43.9km/h	-0.37
リンク3	乗用類	1.80km				0.00	4,184	2.50	45.78	1.75	-4,184	-2.50	0.00
	小型貨物					0.00	1,826	2.50	47.91	0.80	-1,826	-2.50	0.00
	普通貨物車					0.00	817	2.50	64.18	0.48	-817	-2.50	0.00
	計					0.00	6,827	43.1km/h	—	3.03	-6,827	43.1km/h	-3.03
リンク4	乗用類	0.00km				0.00	—	—	—	0.00	0	0.00	0.00
	小型貨物					0.00	—	—	—	0.00	0	0.00	0.00
	普通貨物車					0.00	—	—	—	0.00	0	0.00	0.00
	計					0.00	—	—	—	0.00	0	—	0.00
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km				0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	小型貨物					0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	普通貨物車					0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	計					0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
小計	乗用類	2.70km				0.00	—	—	—	2.34	—	—	-0.59
	小型貨物					0.00	—	—	—	1.01	—	—	-0.21
	普通貨物車					0.00	—	—	—	0.73	—	—	-0.25
	計					0.00	—	—	—	4.08	—	—	-4.08
リンク1 (-)大島浪板線 現道	乗用類	2.50km	2,583	5.00	45.78	2.16	0	0.00	45.78	0.00	2,583	5.00	0.00
	小型貨物		1,347	5.00	47.91	1.18	0	0.00	47.91	0.00	1,347	5.00	0.00
	普通貨物車		454	5.00	64.18	0.53	0	0.00	64.18	0.00	454	5.00	0.00
	計		4,384	30.0km/h	—	3.87	0	—	—	0.00	4,384	—	3.87
リンク2	乗用類					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	小型貨物					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	普通貨物車					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	計					0.00				0.00	0	—	0.00
リンク3	乗用類					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	小型貨物					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	普通貨物車					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	計					0.00				0.00	0	—	0.00
リンク4	乗用類					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	小型貨物					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	普通貨物車					0.00				0.00	0	0.00	0.00
	計					0.00				0.00	0	—	0.00
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km				0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	小型貨物					0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	普通貨物車					0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	計					0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00
小計	乗用類	2.50km				2.16	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	小型貨物					1.18	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	普通貨物車					0.53	—	—	—	0.00	—	—	0.00
	計					3.87	—	—	—	0.00	—	—	3.87
リンクA 国道45号	乗用類	1.50km	4,696	1.82	45.78	1.43	4,110	1.81	45.78	1.24	586	0.01	0.19
	小型貨物		1,262	1.82	47.91	0.40	1,037	1.81	47.91	0.33	225	0.01	0.07
	普通貨物車		775	1.82	64.18	0.33	688	1.81	64.18	0.29	87	0.01	0.04
	計		6,733	49.5km/h	—	2.16	5,835	49.8km/h	—	1.86	898	0.3km/h	0.30
リンクB (主)気仙沼唐桑線	乗用類	0.60km	8,264	1.34	45.78	1.85	7,827	1.34	45.78	1.75	437	0.00	0.10
	小型貨物		4,557	1.34	47.91	1.07	4,436	1.34	47.91	1.04	121	0.00	0.03
	普通貨物車		1,233	1.34	64.18	0.39	1,107	1.34	64.18	0.35	126	0.00	0.04
	計		14,054	26.8km/h	—	3.31	13,370	26.9km/h	—	3.13	684	0.1km/h	0.18
リンクC	乗用類					45.78				45.78	0.00	0.00	0.00
	小型貨物					47.91				47.91	0.00	0.00	0.00
	普通貨物車					64.18				64.18	0.00	0.00	0.00
	計					0.00				0.00	0	—	0.00
その他計 (リンク数) 202	乗用類	248.04km				118.56	—	—	—	116.61	—	—	1.94
	小型貨物					38.36	—	—	—	37.65	—	—	0.71
	普通貨物車					43.52	—	—	—	42.75	—	—	0.77
	計					200.44	—	—	—	197.01	—	—	3.43
小計	乗用類	250.14km				121.84	—	—	—	119.61	—	—	2.23
	小型貨物					39.83	—	—	—	39.01	—	—	0.82
	普通貨物車					44.24	—	—	—	43.38	—	—	0.85
	計					205.91	—	—	—	202.00	—	—	3.91
計 (リンク数) 208	乗用類	255.34km				124.00	—	—	—	121.94	—	—	1.65
	小型貨物					41.01	—	—	—	40.02	—	—	0.61
	普通貨物車					44.77	—	—	—	44.12	—	—	0.60
	計					209.77	—	—	—	206.08	—	—	3.69

バイパス等及び国道の現道は代表リンクとする。
 その他のリンクA, B, Cは、便益の高いリンクを3つ選定し、路線名を記載する。
 各リンクのその他計には、リンク数及び合計延長も記入する。

B様式6(走行経費)

走行経費減少(年間)便益算定表(推計年度:H42)

箇所名:(一)大島浪板線(大島架橋(補助区間))

項目	リンク延長 km	整備なしの走行経費				整備ありの走行経費				走行経費減少便益					
		沿道状況	交通量 Qo(台)	走行経費原単位 (円/台・km)	費用 BRo(億円)	沿道状況	交通量 Qw(台)	走行経費原単位 (円/台・km)	費用 BRw(億円)	交通量 ΔQ(台)	便益 BR(億円)				
バイパス	リンク1	乗用類			0.00	平地部	2,503	17.14	0.10	-2,503	-0.10				
		小型貨物					948	18.63	0.04	-948	-0.04				
		普通貨物車					875	35.59	0.07	-875	-0.07				
		計					4,326	—	0.22	-4,326	-0.22				
	リンク2	乗用類			0.00	平地部	3,924	17.19	0.06	-3,924	-0.06				
		小型貨物					1,140	18.69	0.02	-1,140	-0.02				
		普通貨物車					955	35.86	0.03	-955	-0.03				
		計					6,019	—	0.11	-6,019	-0.11				
	リンク3	乗用類			0.00	平地部	4,184	17.23	0.47	-4,184	-0.47				
		小型貨物					1,826	18.74	0.22	-1,826	-0.22				
		普通貨物車					817	36.07	0.19	-817	-0.19				
		計					6,827	—	0.89	-6,827	-0.89				
リンク4	乗用類			0.00				0.00	0	0.00					
	小型貨物							0.00	0	0.00					
	普通貨物車							0.00	0	0.00					
	計							0.00	0	0.00					
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km		—		—	—	0.00	—	0.00					
	小型貨物					—	—	0.00	—	0.00					
	普通貨物車					—	—	0.00	—	0.00					
	計					—	—	0.00	—	0.00					
小計	乗用類	2.70km		—		—	—	0.64	—	-0.64					
	小型貨物					—	—	0.29	—	-0.29					
	普通貨物車					—	—	0.30	—	-0.30					
	計					—	—	1.22	—	-1.22					
現道	リンク1 (一)大島浪板線 現道	乗用類	平地部	2,583	18.35	0.43	平地部	0	36.54	0.00	2,583	0.43			
		小型貨物						1,347	19.87	0.24	0	28.30	0.00	1,347	0.24
		普通貨物車						454	40.83	0.17	0	66.45	0.00	454	0.17
		計						4,384	—	0.85	0	—	0.00	4,384	0.85
	リンク2	乗用類			0.00				0.00	0	0.00				
		小型貨物							0.00	0	0.00				
		普通貨物車							0.00	0	0.00				
		計							0.00	0	0.00				
	リンク3	乗用類			0.00				0.00	0	0.00				
		小型貨物							0.00	0	0.00				
		普通貨物車							0.00	0	0.00				
		計							0.00	0	0.00				
リンク4	乗用類			0.00				0.00	0	0.00					
	小型貨物							0.00	0	0.00					
	普通貨物車							0.00	0	0.00					
	計							0.00	0	0.00					
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km		—		—	—	0.00	—	0.00					
	小型貨物					—	—	0.00	—	0.00					
	普通貨物車					—	—	0.00	—	0.00					
	計					—	—	0.00	—	0.00					
小計	乗用類	2.50km		—		—	—	0.43	—	0.43					
	小型貨物					—	—	0.24	—	0.24					
	普通貨物車					—	—	0.17	—	0.17					
	計					—	—	0.85	—	0.85					
その他のリンク	リンクA 国道45号	乗用類	平地部	4,696	17.01	0.44	平地部	4,110	17.00	0.38	586	0.05			
		小型貨物						1,262	18.44	0.13	1,037	18.43	0.10	225	0.02
		普通貨物車						775	34.74	0.15	688	34.69	0.13	87	0.02
		計						6,733	—	0.71	5,835	—	0.62	898	0.09
	リンクB (主)気仙沼唐桑線	乗用類	市街地	8,264	17.60	0.32	市街地	7,827	17.58	0.30	437	0.02			
		小型貨物						4,557	19.37	0.19	4,436	19.36	0.19	121	0.01
		普通貨物車						1,233	41.50	0.11	1,107	41.45	0.10	126	0.01
		計						14,054	—	0.62	13,370	—	0.59	684	0.03
	リンクC	乗用類	0.00km		—				0.00	0	0.00				
		小型貨物							0.00	0	0.00				
		普通貨物車							0.00	0	0.00				
		計							0.00	0	0.00				
その他計 (リンク数) 202	乗用類	248.04km		—		—	—	27.46	—	0.44					
	小型貨物					—	—	8.85	—	8.73	—	0.13			
	普通貨物車					—	—	14.93	—	14.73	—	0.20			
	計					—	—	51.24	—	50.47	—	0.76			
小計	乗用類	250.14km		—		—	—	28.21	—	0.51					
	小型貨物					—	—	9.17	—	9.02	—	0.15			
	普通貨物車					—	—	15.19	—	14.96	—	0.23			
	計					—	—	52.57	—	51.68	—	0.89			
計 (リンク数) 208	乗用類	255.34km		—		—	—	28.65	—	0.31					
	小型貨物					—	—	9.42	—	9.31	—	0.11			
	普通貨物車					—	—	15.35	—	15.26	—	0.10			
	計					—	—	53.42	—	52.90	—	0.52			

その他は代表的(便益の大きい)な路線及びリンクを3つ選定する
 その他計にはリンク数と延長を必ず記入すること
 その他のリンクのリンクA~Cには必ず路線名を記入する
 計の交通量には、総走行台キロから逆算された値を記入する

交通事故減少(年間)便益算定表(推計年度:H42)

項目	リンク 延長 km	整備なしの交通事故損失				整備ありの交通事故損失				交通事故減少便益				
		沿道状況	車線数	中央帯	交通量 Qo(台)	主要交差点数 Lo(箇所)	費用 BAo(億円)	沿道状況	車線数	中央帯	交通量 Qw(台)	主要交差点数 Lw(箇所)	費用 BAw(億円)	交通量 /Qo(台)
リンク1	0.65km				0		0.00	平地部	2	無	4,326	0.07	-4,326	-0.07
リンク2	0.25km				0		0.00	平地部	2	無	6,019	0.06	-6,019	-0.06
リンク3	1.80km				0		0.00	平地部	2	無	6,827	0.21	-6,827	-0.21
リンク4	0.00km				0		0.00				0	0.00	0	0.00
その他計 (リンク数) 0	0.00km	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	0.00	-	0.00
小計	2.70km	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	0.33	-	-0.33
リンク1	2.50km	平地部	2	無	4,384	1	0.17	平地部	2	無	0	0.00	4,384	0.17
リンク2	0.00km				0		0.00				0	0.00	0	0.00
リンク3	0.00km				0		0.00				0	0.00	0	0.00
リンク4	0.00km				0		0.00				0	0.00	0	0.00
その他計 (リンク数) 0	0.00km	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	0.00	-	0.00
小計	2.50km	-	-	-	-	-	0.17	-	-	-	-	0.00	-	0.17
リンクA	1.50km	平地部	2	無	6,733	1	0.18	平地部	2	無	5,835	0.15	898	0.02
リンクB	0.60km	市街地	2	無	14,054	1	0.20	市街地	2	無	13,370	0.19	684	0.01
リンクC	0.00km						0.00					0.00	0	0.00
その他計 (リンク数) 202	248.04km	-	-	-	-	-	7.41	-	-	-	-	7.18	-	0.23
小計	250.14km	-	-	-	-	-	7.79	-	-	-	-	7.53	-	0.26
計 (リンク数) 208	255.34km	-	-	-	-	-	7.96	-	-	-	-	7.86	-	0.10

その他は代表的(便益の大きい)な路線及びリンクを3つ選定する
 その他計にはリンク数と延長を必ず記入すること
 その他のリンクのリンクA～Cには必ず路線名を記入する

評価結果

		作成年月日		平成30年 9月 3日		
		事業担当課		道路課		
事業名	ちいきこう きかくどうろ 地域高規格道路		補助・交付金・ 単独の別	補助	事業主体	宮城県
	みやぎけんぼくこうそくかんせんどうろ 宮城県北高速幹線道路 しゅうちほうどうつきだてとよませんさんき 主要地方道築館登米線Ⅲ期 さぬまこうく どうろかいりようじぎょう (佐沼工区) 道路改良事業					
施行地名	とめ はさま きたかた 自：登米市 迫町 北方 さぬま はさま 至：登米市 迫町 佐沼 【位置図後掲】			管理主体	宮城県	
根拠法令	道路法第56条					
事業の概要	事業目的					
	<p>宮城県北高速幹線道路は、宮城県北部の栗原圏域と登米圏域を結ぶ延長約24kmの地域高規格道路である。当該道路は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道間を接続し、仙台北部道路、仙台南部道路とともに、宮城県内の横断軸を形成する。</p> <p>当該道路は、東日本大震災を機に、沿岸被災地域の産業・観光の復興支援を図るとともに、大規模災害発生時には緊急物資輸送を強化する「復興支援道路」に位置付けられ、早期完了に向け、鋭意、事業を推進している。</p> <p>このうち、佐沼工区は、登米市中心市街地を通過する区間であり、国道398号北方バイパスと整備中の中田工区に接続し、主要都市間のアクセス時間の短縮、地域産業の支援、交通渋滞の緩和及び交通事故の軽減などの効果が期待される重要な区間を構成するものである。</p>					
	事業内容					
	事業着手時 (平成25年度)		【計画概要】 延長 L=3.6km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=96億円		【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 6,000台/日	
再評価時 (平成27年度)		【計画概要】 延長 L=3.6km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=148億円		【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 7,000台/日		
再々評価時 (平成30年度)		【計画概要】 延長 L=3.6km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=178億円		【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 7,200台/日		
<p>【事業内容の変更状況とその要因】(再々評価時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川協議の実施結果による橋梁施工費の増額 ・現場条件の変更等による増額 ・補償調査の結果に基づく用地補償費の増額 						

事業費

	全体事業費		費用負担内訳			
		内用地費 及び 補償費	国 [55 %]	県 [45 %]	市町村 [— %]	その他 [— %]
事業着手時 (平成25年度)	96.0 億円	5.7 億円	52.8 億円	43.2 億円	— 億円	— 億円
再評価時 (平成27年度)	148.0 億円	10.0 億円	81.4 億円	66.6 億円	— 億円	— 億円
再々評価時 (平成30年度)	178.0 億円	20.0 億円	97.9 億円	80.1 億円	— 億円	— 億円

※事業費増加度（重点評価実施基準 指標4）

$$= (再々評価時事業費 - 再評価時事業費) / 再評価時事業費 = 20.3\%$$

$$(178.0億円 - 148.0億円) / 148.0億円 = 0.203$$

【事業費の変更状況とその要因】（再々評価時）

- ・河川協議の実施結果による橋梁施工費の増額 (13.0億円)
- ・現場条件の変更等による増額 (7.0億円)
- ・補償調査の結果に基づく用地補償費の増額 (10.0億円)

○事業費増減対象表

	新規着手時 (平成25年度)		再評価時 (平成27年度)		再々評価時 (平成30年度)		増減		変更の主な理由
	事業費	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
本工事費		89.7% 86.1億円		90.1% 133.4億円		86.2% 153.4億円		66.7% 20.0億円	
道路改良工	3.6 km	86.1億円	3.6 km	133.4億円	3.6km	153.4億円		20.0億円	河川協議の実施結果による橋梁施工費の増、現場条件の変更等による増
測量及び試験費	一式	4.4% 4.2億円	一式	3.1% 4.6億円	一式	2.6% 4.6億円			
用地費及び補償費	一式	5.9% 5.7億円	一式	6.8% 10.0億円	一式	11.2% 20.0億円		33.3% 10.0億円	補償調査の結果に基づく用地補償費の増
その他工事費等									
合計		100% 96.0億円		100% 148.0億円		100% 178.0億円		100% 30.0億円	

※増減は再々評価時と再評価時を比較したもの。

事業の概要

事業の進捗状況 規則第24条第1号関係

○事業期間

事業着手時 (平成25年度)		再評価時 (平成27年度)		再々評価時 (平成30年度)	
事業採択年度	H.25年度	事業採択年度	H.25年度	事業採択年度	H.25年度
用地買収着手年度	H.26年度	用地買収着手年度	H.26年度	用地買収着手年度	H.26年度
工事着手年度	H.27年度	工事着手年度	H.27年度	工事着手年度	H.27年度
		計画変更実施(予定)年度	-	計画変更実施(予定)年度	-
完成予定年度	H.29年度	完成予定年度	H.32年度	完成予定年度	H.32年度

※事業停滞年数(重点評価実施基準指標1) = 0年

※事業工期延伸度(重点評価実施基準指標3) = (変更後予定事業期間) / (当初予定事業期間)
= 8/5 = 1.60

○進捗率

平成30年度までの		※(): 前回再評価時	
事業費	進捗率	内用地費 及び補償費	進捗率
(30.0億円)	(20.3%)	(0.8億円)	(8.0%)
102.6億円	57.6%	10.0億円	50.0%

※事業工程乖離度(重点評価基準指標2)

= (累加投資事業費 / 現全体事業費) - (累加年単純割額 / 現全体事業費)
= (102.6 / 178.0) - ((178.0 ÷ 8) × 6) / 178.0 = Δ0.174 = Δ17.4%

【事業の進捗状況(順調でない場合にはその要因)】

平成27年度より工事に着手し、現在、事業進捗率は事業費ベースで57.6%、用地は258筆のうち、245筆取得済みで95.0%の取得率となっており、事業として着実な進捗が図られているが、事業区間の起終点部で用地取得が難航しており、現在、交渉を進めている状況である。

【今後の進捗の見込み(事業スケジュール表後掲)】

施工中の工事については、確実な工事進捗管理を行い、未取得用地の早期取得に向け、交渉を加速させ、平成30年度内に取得するとともに、橋梁工・舗装工を進め、平成32年度内の事業完了を見込む。

施設管理の予定・管理状況

事業区間の道路施設は宮城県が維持管理する。
事業区間の盛土法面端部(法肩部)は防草対策を施工し、将来の除草費用の低減を図る。

事業の概要

事業	上位計画等	<p>①宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生実施計画（平成30年度3月策定） 「高規格幹線道路等の整備」として、「宮城県北高速幹線道路の整備を推進し、東西広域連携軸を強化します。」と本事業の整備推進を掲げている。</p> <p>②第二次登米市総合計画（平成27年9月策定） 宮城県北高規格幹線道路と一体となって、市街地整備やアクセス道路の整備を行い、利便性が高く安全で快適な幹線道路ネットワークを形成するための整備推進を行っていることを掲げている。</p> <p>③登米市都市交通計画マスタープラン（平成20年3月策定） 「広域交通体系の充実や市内地域間ネットワークの強化」として、「宮城県北高速幹線道路の早期整備の実現を宮城県に要請する。」としている。</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	規則第24条2号関係
の 必 要 性	○社会経済情勢	<p>宮城県北高速幹線道路については、Ⅲ期（佐沼工区）のほかⅡ期（中田工区）、Ⅳ期（築館工区）を整備中であり、Ⅱ・Ⅳ期は平成30年度、Ⅲ期は平成32年度の完成を予定している。</p> <p>また、三陸縦貫自動車道については、国直轄事業にて整備中であり、平成29年12月9日に南三陸道路の南三陸海岸IC～歌津IC間が供用を開始し、さらに平成30年3月25日には本吉気仙沼道路の大谷海岸IC～気仙沼中央IC間が供用済みである。</p>
	○地元情勢、地元の意見	<p>主要地方道築館登米線は登米市迫町市街地部などで渋滞が発生していることから、当該道路を整備することで、交通分散による渋滞解消が図られるとともに、通行車両及び歩行者の安全性が向上するなど現道交通環境の改善に地元の期待が寄せられている。</p> <p>また、当該道路の整備により、東北縦貫自動車道及び三陸縦貫自動車道へのアクセスが高まることで、救命救急活動や災害発生時の緊急物資等の輸送の円滑化など地域の防災力向上に寄与するとともに、物流機能の向上による地域産業の活性化や都市圏からの交流人口の増加による地域観光の振興にも寄与することなどから、地元より早期完成が強く望まれている。</p> <p>※みやぎ県北高速幹線道路建設促進期成同盟会（会長 登米市長） 平成28年 8月22日提出 みやぎ県北高速幹線道路建設促進に関する要望書 平成29年11月 7日提出 みやぎ県北高速幹線道路建設促進に関する要望書</p>
事業 の有 効 性	事業効果	<p>○効果の発現状況 供用していないため、まだ整備効果の発現はない。</p> <p>○想定される事業効果</p> <p>①渋滞対策、交通事故減少 主要地方道の築館登米線は登米市中心部を通過するため、渋滞が発生しているが、通過交通の排除に伴い交通量が減少し、登米市中心部の渋滞が緩和されると共に、通過交通の減少による交通事故の減少も見込まれる。</p> <p>②高規格幹線道路へのアクセス向上 当該道路は、東北縦貫自動車道及び三陸縦貫自動車道（三陸沿岸道路）を最短で結ぶ路線となるため、アクセス向上及び定時性が期待される。</p> <p>③救急医療施設へのアクセス向上 当該道路を経由することで、地域の第三次救急医療施設（石巻赤十字病院）へのアクセスが向上する。</p>

	<p>④緊急輸送道路としての機能 東日本大震災発災時、当該道路の供用済区間（I期）を經由し、三陸沿岸部と内陸部（東北縦貫自動車道、一般国道4号）を接続する緊急輸送道路として機能した。</p> <p>⑤地域産業の支援 新規企業の誘致や在来企業の物流コストの低減を図るなど、地域産業を支援する。</p> <p>⑥県北圏域の観光支援 栗駒国定公園、三陸復興国立公園、伊豆沼・内沼、長沼フートピア公園、教育資料館などの県北圏域の観光資源へのアクセス性が向上し、新たな広域的観光ルートの展開により、交流人口の増加が見込まれ、地域の活性化を支援する。</p>						
事業の概要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 427 619 506">関連事業の概要・進捗状況等</td> <td data-bbox="619 427 1417 506"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 506 619 734"> <p>①三陸縦貫自動車道の整備：事業主体 国土交通省 歌津IC（平成29年12月9日 開通）</p> <p>②国道4号築館バイパスの整備：事業主体 国土交通省 栗原市築館外南沢地内～市道栗原中央線交差点部（平成27年12月13日開通） ※一部、暫定供用区間含む。</p> </td> <td data-bbox="619 506 1417 734"></td> </tr> </table>	関連事業の概要・進捗状況等		<p>①三陸縦貫自動車道の整備：事業主体 国土交通省 歌津IC（平成29年12月9日 開通）</p> <p>②国道4号築館バイパスの整備：事業主体 国土交通省 栗原市築館外南沢地内～市道栗原中央線交差点部（平成27年12月13日開通） ※一部、暫定供用区間含む。</p>			
	関連事業の概要・進捗状況等						
<p>①三陸縦貫自動車道の整備：事業主体 国土交通省 歌津IC（平成29年12月9日 開通）</p> <p>②国道4号築館バイパスの整備：事業主体 国土交通省 栗原市築館外南沢地内～市道栗原中央線交差点部（平成27年12月13日開通） ※一部、暫定供用区間含む。</p>							
業の効	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 734 501 808">代替案との比較検討</td> <td data-bbox="501 734 1417 808">規則第24条第3号関係</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="228 808 1417 887">住民説明会で概ねの合意を得ており、代替案の検討はない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 887 443 965">コスト削減計画</td> <td data-bbox="443 887 1417 965">規則第24条第4号関係</td> </tr> </table>	代替案との比較検討	規則第24条第3号関係	住民説明会で概ねの合意を得ており、代替案の検討はない。		コスト削減計画	規則第24条第4号関係
	代替案との比較検討	規則第24条第3号関係					
住民説明会で概ねの合意を得ており、代替案の検討はない。							
コスト削減計画	規則第24条第4号関係						
率性	<p>道路建設のコスト削減については、以下の項目でコスト削減を図った。 ※H27再評価以前のもの</p> <p>①道路規格の見直し、幅員縮小（当初） 道路規格について、事業着手前はI期区間（供用済）と同一である第1種第3級を想定していたが、「地域高規格道路の構造要件」の見直しを踏まえ、事業着手時に第3種第2級に変更し、幅員をW=12.0mからW=8.5mに変更した。 工事費▲31億円、用地費▲3億円 ⇒ 34億円のコスト削減</p> <p>②舗装設計の見直し（当初） 舗装の長寿命化（耐用年数10年の設計⇒耐用年数20年の設計）を図ることで20年間における維持管理費の削減を図った。⇒137百万円のコスト削減</p> <p>③橋梁形式の見直し（前回） 長大橋となる2橋の形式を、「従来箱桁橋」から、箱主桁断面を細幅化し小型部材個数を大幅に削減出来る「細幅箱桁橋」に変更し、桁製作費・架設費の低減と工期短縮を図った。 工事費▲3.2億円</p> <p>【参考】 （当初）従来箱桁橋+（3主）鉸桁橋 ⇒C=34.2億円 （前回）細幅箱桁橋+少数（2）主桁橋 ⇒C=31.0億円 ⇒ 3.2億円のコスト削減</p> <p>④橋梁延長の見直し（前回） 橋梁費が安価となる橋長最短案を採用していたが、橋梁を1径間伸ばすことで支間長バランスを改善させ、上部工形式の変更及び土工区間の地盤改良費及び仮栈橋工の削減を図った。 工事費▲1.0億円</p> <p>【参考】 （当初）橋長L=669m（11径間）C=27.1億円、土工+仮栈橋工 C=4.4億円 →計31.5億円 （前回）橋長L=763m（12径間）C=30.5億円 →計30.5億円 ⇒ 1.0億円のコスト削減</p>						

⑤維持管理費の見直し（今回）

雑草の繁殖を抑えるため法面端部（法肩部、法尻部）に路肩コンクリートを設置し、除草の維持管理費を減らすことで20年で約43百万円のライフサイクルコストの縮減を図る。

費用対効果 規則第24条第5号関係

根拠マニュアル：費用便益分析マニュアル（国土交通省 道路局 都市・地域整備局）

（平成30年版）

社会的割引率： 4 %

便益算定期間： 50 年

事業の

区 分	事業着手時 基準年（平成24年） ＜全体＞	再評価時 （平成27年）		再々評価時 （平成30年）		
		＜全体＞	＜残事業＞	＜全体＞	＜残事業＞	
費 用 項 目	建設費	96.0億円	148.0億円	118.0億円	178.0億円	75.4億円
	維持管理費	5.0億円	5.1億円	5.1億円	4.6億円	4.6億円
	総費用	101.0億円	153.1億円	123.1億円	182.6億円	80.0億円
	現在価値（C）	79.9億円	136.1億円	105.5億円	181.8億円	72.9億円
便 益 項 目	走行時間短縮便益	276.7億円	375.9億円	375.9億円	362.4億円	362.4億円
	走行経費減少便益	64.5億円	89.7億円	89.7億円	69.6億円	69.6億円
	交通事故減少便益	34.6億円	29.5億円	29.5億円	15.7億円	15.7億円
	総便益	375.8億円	495.1億円	495.1億円	447.7億円	447.7億円
	現在価値（B）	140.5億円	184.1億円	184.1億円	187.9億円	187.9億円
費用便益比（B/C）		1.76	1.35	1.74	1.03	2.58

効
率
性

【便益の概要、主な算出根拠等】

現況交通（H27センサス） 2, 267～15, 942台/日（（主）築館登米線）

計画交通量 7, 200台/日

※算出便益

「走行時間短縮便益」：道路の整備の有無による総走行時間費用の差で表す便益

「走行経費減少便益」：道路の整備の有無による走行経費（燃料費や車両償却費等の走行条件により改善される経費）の差で表す便益

「交通事故減少便益」：道路の整備の有無による社会的損失（交通事故による人的、物的損失等）の差で表す便益

【前回再評価時との違いの要因】

○全体事業費の増（148億円→178億円）

- ・河川協議の実施結果による橋梁施工費の増額 (13.0億円)
- ・現場条件の変更等による増額 (7.0億円)
- ・補償調査の結果に基づく用地補償費の増額 (10.0億円)

環境への影響と対策	地域指定状況等
	特になし
環境への影響と対策	影響と対策
	道路改良の盛土法面において緑化を行う。 低騒音振動重機を利用し、周辺環境への騒音・振動に配慮する。

再 評 価 部 会 意 見 へ の 対 応 状 況	再評価実施状況		
	再評価実施年度	平成27年度	
	答 申	答 申	継続妥当
		条 件	なし
		別紙意見	<p>1 審議対象事業の実施に関する意見 復興支援道路としての目的の速やかな実現のため、迅速な施工を行い、早期完成に努めること。 なお、将来的には、東北縦貫自動車道との接続など、道路ネットワークの効率性を高めるための方策が検討されることを期待する。</p> <p>2 今後の事業実施に関する意見 (1) 事業全般 地質調査結果の蓄積、庁内における情報共有、さらなる技術力の向上を図ることなど、事業費の見積りの精度を高めるための方策について検討すること。 (2) 道路事業 事業の計画及び実施にあたっては、県土全体の道路ネットワークにおける当該事業の位置付けを明確にし、より高い事業効果の発現に努めること。</p>
	評 価 結 果	評価結果	事業継続
		対応方針	なし
		別紙意見 に対する 対応方針	<p>1 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針 今後の建設工事に当たっては、復興支援道路としての目的の速やかな実現を図るべく、迅速な施工を行い、早期完成に努める。 また、供用後の利用状況や社会経済情勢の変化等も踏まえながら、道路ネットワークの効率性を高めるための方策について、必要に応じて検討を行う。</p> <p>2 今後の事業実施に関する意見への対応方針 (1) 事業全般 地質調査の結果等のデータベース化を進めるとともに、庁内における情報共有やさらなる技術力の向上など、事業費の見積りの精度を高めるための各種方策について検討する。 (2) 道路事業 事業の計画及び実施の各段階において、県土全体の道路ネットワークにおける当該事業の位置付けを明確にし、より高い事業効果の発現に努める。</p>

再 評 価 部 会 意 見 へ の 対 応 状 況	現在の対応状況
	<p>1 審議対象事業の実施に関する意見への対応状況</p> <p>平成32年度の事業完了に向け、未取得用地を今年度内に取得できるよう鋭意交渉を進めるとともに、工事工程の管理を徹底し、着実な工事進捗を図っている。</p> <p>また、本道路の事業効果を一層高めていくため、現在、東北縦貫自動車道と宮城県北高速幹線道路の接続の実現に向け、国土交通省等の関係機関と調整を行うなど検討を進めている。</p> <p>2 今後の事業実施に関する意見への対応状況</p> <p>(1) 事業全般</p> <p>設計時の地盤状況の把握のため、宮城県が幹事として参加している東北地盤情報システムみちのくGIDASの運営協議会では、国、県、市町村が保有する地質データを集約・蓄積し、実務的な運用に向けデータベースの充実を図っている。これまでに国から約7,500本、宮城県から約5,300本のボーリングデータが収集されており、ホームページでの閲覧が可能となっている。</p> <p>また、職員の技術力の向上においては、現場見学会の実施や様々な技術研修会を実施し、職員の情報共有、技術力の研鑽に一層努めるほか、道路事業としては過年度の再評価資料のデータベースを作成するとともに、事業費増減内容の分析を行うことで事業費チェックの参考としている。</p> <p>(2) 道路事業</p> <p>当該事業は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道間を最短で接続し、宮城県内の横断軸（仙台北部道路、仙台南部道路）を補完する広域交通ネットワークの形成により県北地域のみならず宮城県全体の産業・観光を支援する地域高規格道路のうち、栗原市方面から登米市中心部を経て三陸縦貫自動車道へ至る重要な区間である。</p> <p>また、宮城県北高速幹線道路は、沿岸被災地域の産業・観光の復興支援を図り、大規模災害発生時の緊急物資輸送を強化する「復興支援道路」に位置付けられ、整備が進められている。</p> <p>当該道路の開通に加え東北縦貫自動車道と宮城県北高速幹線道路を接続することで、時間短縮効果による利用者の利便性向上はもとより、地域産業の支援、防災ネットワーク・緊急医療ネットワークの強化に大きく寄与し、本事業による事業効果の飛躍的な向上が期待できる。</p>
総 合 評 価	対応方針
	事業継続

事業スケジュール表

○事業スケジュール表

ちいきこうきかくどうろみやぎけんほくこうそくかんせんどうろ
地域高規格道路宮城県北高速幹線道路

しゆようちほうどうつきだてとよませんさんき きぬまこうく どうろかいりようじぎよう
主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業

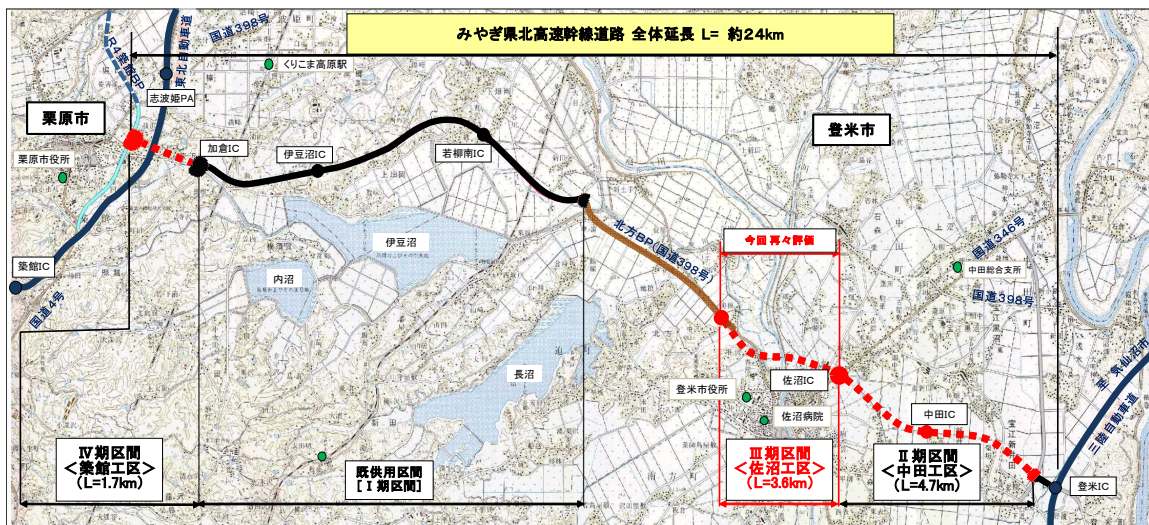
項目	年度							
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
調査・設計	■	■	■					
用地・補償		■	■	■	■	■	■	
工事			■	■	■	■	■	■

業務着手時(H25)	■
再評価時 (H27)	■
再々評価時(H30)	■

位置



図



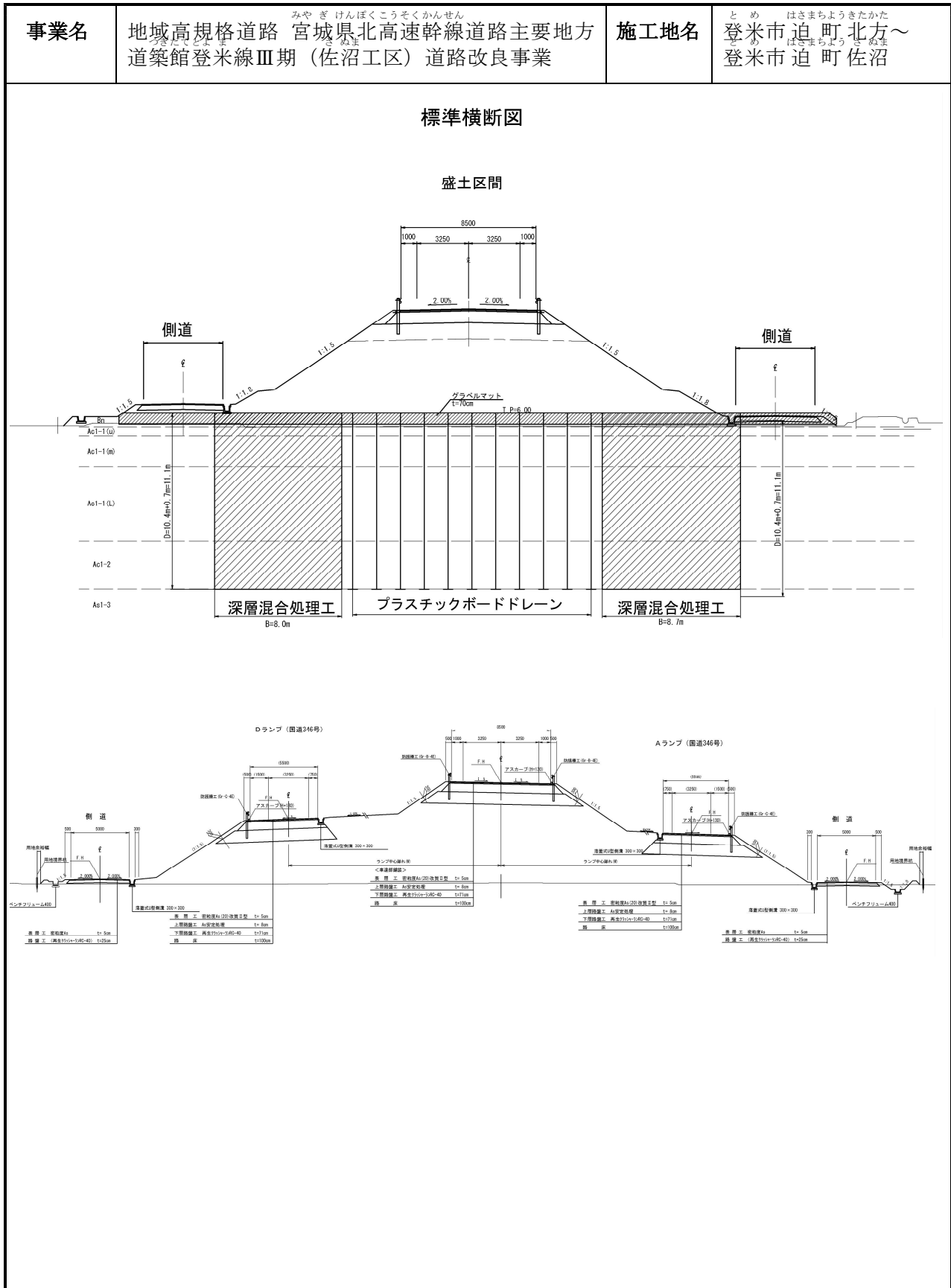
(参考資料1)

事業概要図

<p>事業名</p>	<p>地域高規格道路 <small>みやぎけんほくこうそくかんせん</small> 宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期 (佐沼工区) 道路改良事業</p>	<p>施工地名</p>	<p>登米市 <small>とめ</small> 迫町 <small>はさまち</small> 北方 <small>よきたかた</small> ~ 登米市 <small>とめ</small> 迫町 <small>はさまち</small> 佐沼 <small>さぬま</small></p>

(参考資料1)

事業概要図



(参考資料2)

事業施行状況等

事業名	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道 築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業	施工地名	登米市迫町北方～ 登米市迫町佐沼
-----	---	------	---------------------

○現道状況写真



渋滞が著しい（主）築館登米線



渋滞が著しい（主）築館登米線

(参考資料 2)

事業施行状況等

事業名	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業	施工地名	登米市迫町北方～登米市迫町佐沼
-----	---	------	-----------------

○整備状況写真



起点部：佐沼北交差点（国398号接続部）



起点部・紫雲山大橋間（水田内通過）

(参考資料 2)

事業施行状況等

事業名	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業	施工地名	登米市迫町北方～登米市迫町佐沼
-----	---	------	-----------------

○整備状況写真



紫雲山大橋（迫川右岸・国398号）架橋予定位置



紫雲山大橋（荒川・迫川間高水敷）架橋予定位置

(参考資料2)

事業施行状況等

事業名	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業	施工地名	登米市迫町北方～登米市迫町佐沼
-----	---	------	-----------------

○整備状況写真



紫雲山大橋（迫川左岸）架橋予定位置



紫雲山大橋・加賀野高架橋間（迫川左岸）市道交差位置

(参考資料2)

事業施行状況等

事業名	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業	施工地名	登米市迫町北方～登米市迫町佐沼
-----	---	------	-----------------

○整備状況写真



(一) 中田・迫線交差予定位置



終点部：加賀野高架橋（佐沼 I C 付近）架橋予定位置

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B・P・その他の別
(主)築館登米線	宮城県北 高速幹線道路 Ⅲ期(佐沼工区)	L=3.6km		B・P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,200	2	宮城県

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	178億円	4.6億円	183億円
うち残事業分	75億円	4.7億円	80億円
基準年における 現在価値(C)	180億円	1.9億円	182億円
うち残事業分	71億円	1.9億円	73億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	8.4億円	1.6億円	0.4億円	10億円
基準年における 現在価値(B)	152億円	29.2億円	6.7億円	188億円
うち残事業分	152億円	29.2億円	6.7億円	188億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.03
経済的純現在価値(B-C)	6.0億円
経済的內部収益率(EIRR)	4.2%
費用便益比(残事業)	2.6
経済的純現在価値(残事業)	115億円
経済的內部収益率(残事業)	12.2%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(事業全体)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7200(台/日)	±10%	0.9~1.1
事業費	178億円	±10%	0.9~1.1
事業期間	8年	±2年	0.9~1.1

④ 感度分析(残事業)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7200(台/日)	±10%	2.3~2.8
事業費	75億円	±10%	2.3~2.8
事業期間	2年	±1年	2.5~2.6

交通状況の変化

様式-3①

事業名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

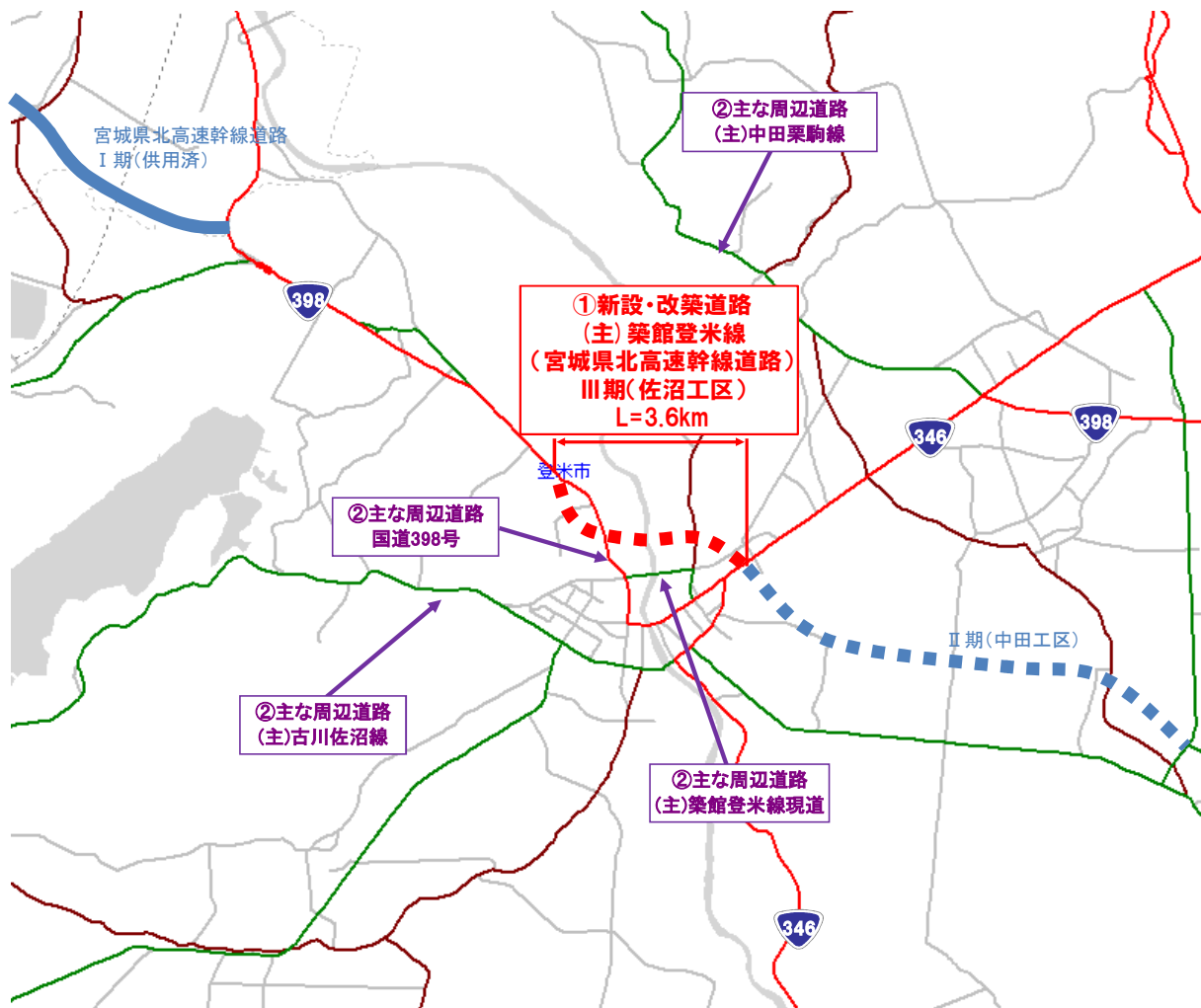
(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (宮城県北 高速幹線道路 Ⅲ期(佐沼工区)) 延長:3.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	7,200	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	4.74	
②主な 周辺道路	(主)築館登米線現道 :1.0km	交通量	[台/日]	12,100	8,900
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	4.26	2.59
	国道398号 :0.9km	交通量	[台/日]	13,700	8,000
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	6.13	2.38
	(主)中田栗駒線 :2.9km	交通量	[台/日]	3,200	2,500
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	3.22	2.48
	(主)古川佐沼線 :2.2km	交通量	[台/日]	1,700	1,500
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	0.88	0.80
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 :1,495.5km		走行時間費用	[億円/年]	1,982.94	1,976.27

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間 短縮便益 (A-B)
合計:1,506.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,997.43	1,989.27	8.16

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他(各回の配分開始時の速度を交通量でウェイト付けして設定)		<input checked="" type="checkbox"/>

事業名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 県管理道路の過去の実績値より設定		
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>		
その他				
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 県管理道路の過去の実績値より設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮する場合のみ	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
			事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
維持管理費を考慮			<input type="checkbox"/>	
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.028	3.60	0.10

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 25	1.2167	99.0	3.00	3.79		
-7年目	H 26	1.1699	101.5	9.00	10.66		
-6年目	H 27	1.1249	103.0	18.00	20.21		
-5年目	H 28	1.0816	102.8	12.00	12.98		
-4年目	H 29	1.0400	102.8	25.60	26.62		
-3年目	H 30	1.0000	102.8	35.00	35.00		
-2年目	H 31	0.9615	102.8	44.40	42.69		
-1年目	H 32	0.9246	102.8	31.00	28.66		
供用開始年次	H 33	0.8890	102.8			0.09	0.08
1年目	H 34	0.8548	102.8			0.09	0.08
2年目	H 35	0.8219	102.8			0.09	0.08
3年目	H 36	0.7903	102.8			0.09	0.07
4年目	H 37	0.7599	102.8			0.09	0.07
5年目	H 38	0.7307	102.8			0.09	0.07
6年目	H 39	0.7026	102.8			0.09	0.07
7年目	H 40	0.6756	102.8			0.09	0.06
8年目	H 41	0.6496	102.8			0.09	0.06
9年目	H 42	0.6246	102.8			0.09	0.06
10年目	H 43	0.6006	102.8			0.09	0.06
11年目	H 44	0.5775	102.8			0.09	0.05
12年目	H 45	0.5553	102.8			0.09	0.05
13年目	H 46	0.5339	102.8			0.09	0.05
14年目	H 47	0.5134	102.8			0.09	0.05
15年目	H 48	0.4936	102.8			0.09	0.05
16年目	H 49	0.4746	102.8			0.09	0.04
17年目	H 50	0.4564	102.8			0.09	0.04
18年目	H 51	0.4388	102.8			0.09	0.04
19年目	H 52	0.4220	102.8			0.09	0.04
20年目	H 53	0.4057	102.8			0.09	0.04
21年目	H 54	0.3901	102.8			0.09	0.04
22年目	H 55	0.3751	102.8			0.09	0.04
23年目	H 56	0.3607	102.8			0.09	0.03
24年目	H 57	0.3468	102.8			0.09	0.03
25年目	H 58	0.3335	102.8			0.09	0.03
26年目	H 59	0.3207	102.8			0.09	0.03
27年目	H 60	0.3083	102.8			0.09	0.03
28年目	H 61	0.2965	102.8			0.09	0.03
29年目	H 62	0.2851	102.8			0.09	0.03
30年目	H 63	0.2741	102.8			0.09	0.03
31年目	H 64	0.2636	102.8			0.09	0.02
32年目	H 65	0.2534	102.8			0.09	0.02
33年目	H 66	0.2437	102.8			0.09	0.02
34年目	H 67	0.2343	102.8			0.09	0.02
35年目	H 68	0.2253	102.8			0.09	0.02
36年目	H 69	0.2166	102.8			0.09	0.02
37年目	H 70	0.2083	102.8			0.09	0.02
38年目	H 71	0.2003	102.8			0.09	0.02
39年目	H 72	0.1926	102.8			0.09	0.02
40年目	H 73	0.1852	102.8			0.09	0.02
41年目	H 74	0.1780	102.8			0.09	0.02
42年目	H 75	0.1712	102.8			0.09	0.02
43年目	H 76	0.1646	102.8			0.09	0.02
44年目	H 77	0.1583	102.8			0.09	0.01
45年目	H 78	0.1522	102.8			0.09	0.01
46年目	H 79	0.1463	102.8			0.09	0.01
47年目	H 80	0.1407	102.8			0.09	0.01
48年目	H 81	0.1353	102.8			0.09	0.01
49年目	H 82	0.1301	102.8	-5.20	-0.68	0.09	0.01
合計				172.80	179.94	4.67	1.85
単純事業費計				178.00		4.67	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区)) (残事業)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.028	3.60	0.10	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 25	1.2167	99.0	0.00	0.00		
-7年目	H 26	1.1699	101.5	0.00	0.00		
-6年目	H 27	1.1249	103.0	0.00	0.00		
-5年目	H 28	1.0816	102.8	0.00	0.00		
-4年目	H 29	1.0400	102.8	0.00	0.00		
-3年目	H 30	1.0000	102.8	0.00	0.00		
-2年目	H 31	0.9615	102.8	44.40	42.69		
-1年目	H 32	0.9246	102.8	31.00	28.66		
供用開始年次	H 33	0.8890	102.8			0.09	0.08
1年目	H 34	0.8548	102.8			0.09	0.08
2年目	H 35	0.8219	102.8			0.09	0.08
3年目	H 36	0.7903	102.8			0.09	0.07
4年目	H 37	0.7599	102.8			0.09	0.07
5年目	H 38	0.7307	102.8			0.09	0.07
6年目	H 39	0.7026	102.8			0.09	0.07
7年目	H 40	0.6756	102.8			0.09	0.06
8年目	H 41	0.6496	102.8			0.09	0.06
9年目	H 42	0.6246	102.8			0.09	0.06
10年目	H 43	0.6006	102.8			0.09	0.06
11年目	H 44	0.5775	102.8			0.09	0.05
12年目	H 45	0.5553	102.8			0.09	0.05
13年目	H 46	0.5339	102.8			0.09	0.05
14年目	H 47	0.5134	102.8			0.09	0.05
15年目	H 48	0.4936	102.8			0.09	0.05
16年目	H 49	0.4746	102.8			0.09	0.04
17年目	H 50	0.4564	102.8			0.09	0.04
18年目	H 51	0.4388	102.8			0.09	0.04
19年目	H 52	0.4220	102.8			0.09	0.04
20年目	H 53	0.4057	102.8			0.09	0.04
21年目	H 54	0.3901	102.8			0.09	0.04
22年目	H 55	0.3751	102.8			0.09	0.04
23年目	H 56	0.3607	102.8			0.09	0.03
24年目	H 57	0.3468	102.8			0.09	0.03
25年目	H 58	0.3335	102.8			0.09	0.03
26年目	H 59	0.3207	102.8			0.09	0.03
27年目	H 60	0.3083	102.8			0.09	0.03
28年目	H 61	0.2965	102.8			0.09	0.03
29年目	H 62	0.2851	102.8			0.09	0.03
30年目	H 63	0.2741	102.8			0.09	0.03
31年目	H 64	0.2636	102.8			0.09	0.02
32年目	H 65	0.2534	102.8			0.09	0.02
33年目	H 66	0.2437	102.8			0.09	0.02
34年目	H 67	0.2343	102.8			0.09	0.02
35年目	H 68	0.2253	102.8			0.09	0.02
36年目	H 69	0.2166	102.8			0.09	0.02
37年目	H 70	0.2083	102.8			0.09	0.02
38年目	H 71	0.2003	102.8			0.09	0.02
39年目	H 72	0.1926	102.8			0.09	0.02
40年目	H 73	0.1852	102.8			0.09	0.02
41年目	H 74	0.1780	102.8			0.09	0.02
42年目	H 75	0.1712	102.8			0.09	0.02
43年目	H 76	0.1646	102.8			0.09	0.02
44年目	H 77	0.1583	102.8			0.09	0.01
45年目	H 78	0.1522	102.8			0.09	0.01
46年目	H 79	0.1463	102.8			0.09	0.01
47年目	H 80	0.1407	102.8			0.09	0.01
48年目	H 81	0.1353	102.8			0.09	0.01
49年目	H 82	0.1301	102.8	-2.20	-0.29	0.09	0.01
合計				73.20	71.07	4.67	1.85
単純事業費計				75.40		4.67	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

年次 (供用開始年次)	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (南東北7区)				割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)				合計 (億円)			
		乗用車種		小型貨物			普通貨物		全重		① 計		現在価値 (1) x (A)		② 計		現在価値 (A) x (2)		③		便益合計 (1)~(3)	割引率4%
		乗用車種	小型貨物	普通貨物	全重		乗用車種	小型貨物	普通貨物	現在価値 (1) x (A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	現在価値 (A) x (2)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	現在価値 (A) x (2)	乗用車種	小型貨物		
H30	H33	0.99640	0.98466	1.00355	0.99566	0.8890	4.62	1.10	2.65	8.38	7.45	0.95	0.14	0.51	1.60	1.42	0.38	0.33	10.36	9.21		
H31	H34	0.99639	0.98443	1.00353	0.99564	0.8898	4.61	1.08	2.66	8.36	7.14	0.94	0.14	0.52	1.60	1.37	0.37	0.32	10.33	8.83		
H32	H35	0.99638	0.98418	1.00352	0.99562	0.8219	4.59	1.07	2.67	8.33	6.85	0.94	0.14	0.52	1.59	1.31	0.37	0.31	10.30	8.46		
H33	H36	0.99637	0.98393	1.00351	0.99560	0.7903	4.57	1.05	2.68	8.31	6.57	0.93	0.14	0.52	1.59	1.26	0.37	0.29	10.27	8.11		
H34	H37	0.99635	0.98366	1.00350	0.99558	0.7599	4.56	1.03	2.69	8.28	6.29	0.93	0.13	0.52	1.59	1.21	0.37	0.28	10.24	7.78		
H35	H38	0.99634	0.98339	1.00348	0.99556	0.7307	4.54	1.02	2.70	8.26	6.03	0.93	0.13	0.52	1.58	1.16	0.37	0.27	10.21	7.46		
H36	H39	0.99633	0.98311	1.00347	0.99554	0.7026	4.52	1.00	2.71	8.23	5.79	0.92	0.13	0.53	1.57	1.11	0.37	0.26	10.18	7.15		
H37	H40	0.99631	0.98282	1.00346	0.99552	0.6756	4.51	0.98	2.72	8.21	5.55	0.92	0.13	0.53	1.57	1.06	0.36	0.25	10.15	6.86		
H38	H41	0.99630	0.98252	1.00345	0.99550	0.6496	4.49	0.97	2.73	8.19	5.32	0.92	0.12	0.53	1.57	1.02	0.36	0.24	10.12	6.57		
H39	H42	0.99076	0.99086	0.99743	0.99176	0.6246	4.47	0.95	2.74	8.16	5.10	0.91	0.12	0.53	1.57	0.98	0.36	0.23	10.09	6.30		
H40	H43	0.99068	0.99077	0.99742	0.99169	0.6006	4.43	0.94	2.73	8.11	4.87	0.91	0.12	0.53	1.56	0.93	0.36	0.22	10.02	6.02		
H41	H44	0.99059	0.99069	0.99741	0.99162	0.5775	4.39	0.93	2.72	8.05	4.65	0.90	0.12	0.53	1.55	0.89	0.36	0.21	9.95	5.75		
H42	H45	0.99050	0.99060	0.99741	0.99155	0.5553	4.35	0.92	2.72	7.99	4.44	0.89	0.12	0.53	1.53	0.85	0.35	0.20	9.88	5.48		
H43	H46	0.99041	0.99051	0.99740	0.99148	0.5339	4.31	0.91	2.71	7.93	4.24	0.88	0.12	0.53	1.52	0.81	0.35	0.19	9.81	5.24		
H44	H47	0.99031	0.99042	0.99739	0.99141	0.5134	4.27	0.91	2.70	7.88	4.04	0.87	0.12	0.52	1.51	0.78	0.35	0.18	9.74	5.00		
H45	H48	0.99022	0.99033	0.99739	0.99133	0.4936	4.23	0.90	2.70	7.82	3.86	0.86	0.12	0.52	1.50	0.74	0.34	0.17	9.66	4.77		
H46	H49	0.99012	0.99023	0.99738	0.99126	0.4746	4.19	0.89	2.69	7.76	3.68	0.86	0.11	0.52	1.49	0.71	0.34	0.16	9.59	4.55		
H47	H50	0.99002	0.99014	0.99737	0.99118	0.4564	4.14	0.88	2.68	7.71	3.52	0.85	0.11	0.52	1.48	0.68	0.34	0.15	9.52	4.35		
H48	H51	0.98992	0.99004	0.99736	0.99110	0.4388	4.10	0.87	2.68	7.65	3.36	0.84	0.11	0.52	1.47	0.64	0.33	0.15	9.45	4.15		
H49	H52	0.98982	0.98994	0.99736	0.99102	0.4220	4.06	0.86	2.67	7.59	3.20	0.83	0.11	0.52	1.46	0.62	0.33	0.14	9.38	3.96		
H50	H53	0.98972	0.98984	0.99735	0.99094	0.4057	4.02	0.85	2.66	7.53	3.06	0.82	0.11	0.52	1.45	0.59	0.33	0.13	9.31	3.78		
H51	H54	0.98961	0.98973	0.99734	0.99086	0.3901	3.98	0.85	2.65	7.48	2.92	0.81	0.11	0.51	1.44	0.56	0.33	0.13	9.24	3.60		
H52	H55	0.98950	0.98963	0.99734	0.99077	0.3751	3.94	0.84	2.65	7.42	2.78	0.80	0.11	0.51	1.43	0.53	0.32	0.12	9.17	3.44		
H53	H56	0.98939	0.98952	0.99733	0.99069	0.3607	3.90	0.83	2.64	7.36	2.66	0.80	0.10	0.51	1.41	0.51	0.32	0.12	9.10	3.28		
H54	H57	0.98928	0.98941	0.99732	0.99060	0.3468	3.85	0.82	2.63	7.31	2.53	0.79	0.11	0.51	1.40	0.49	0.32	0.11	9.03	3.13		
H55	H58	0.98916	0.98929	0.99731	0.99051	0.3335	3.81	0.81	2.63	7.25	2.42	0.78	0.10	0.51	1.39	0.46	0.31	0.10	8.96	2.99		
H56	H59	0.98904	0.98918	0.99731	0.99042	0.3207	3.77	0.80	2.62	7.19	2.31	0.77	0.10	0.51	1.38	0.44	0.31	0.10	8.88	2.85		
H57	H60	0.98892	0.98906	0.99730	0.99033	0.3083	3.73	0.79	2.61	7.14	2.20	0.76	0.10	0.51	1.37	0.42	0.31	0.09	8.81	2.72		
H58	H61	0.98879	0.98894	0.99729	0.99023	0.2965	3.69	0.78	2.60	7.08	2.10	0.75	0.10	0.50	1.36	0.40	0.30	0.09	8.74	2.59		
H59	H62	0.98867	0.98881	0.99729	0.99014	0.2851	3.65	0.77	2.60	7.02	2.00	0.75	0.10	0.50	1.35	0.38	0.30	0.09	8.67	2.47		
H60	H63	0.98854	0.98869	0.99728	0.99004	0.2741	3.61	0.77	2.59	6.96	1.91	0.74	0.10	0.50	1.34	0.37	0.30	0.08	8.60	2.36		
H61	H64	0.98840	0.98856	0.99727	0.98994	0.2636	3.56	0.76	2.58	6.91	1.82	0.73	0.10	0.50	1.33	0.35	0.30	0.08	8.53	2.25		
H62	H65	0.98827	0.98843	0.99726	0.98984	0.2534	3.52	0.75	2.58	6.85	1.74	0.72	0.10	0.50	1.32	0.33	0.29	0.07	8.46	2.14		
H63	H66	0.98813	0.98829	0.99726	0.98973	0.2437	3.48	0.74	2.57	6.79	1.66	0.71	0.10	0.50	1.30	0.32	0.29	0.07	8.39	2.04		
H64	H67	0.98799	0.98815	0.99725	0.98963	0.2343	3.44	0.73	2.56	6.74	1.58	0.70	0.09	0.50	1.29	0.30	0.29	0.07	8.32	1.95		
H65	H68	0.98784	0.98801	0.99724	0.98952	0.2253	3.40	0.72	2.56	6.68	1.50	0.69	0.09	0.50	1.28	0.29	0.28	0.06	8.25	1.86		
H66	H69	0.98769	0.98786	0.99723	0.98941	0.2166	3.36	0.71	2.55	6.62	1.43	0.68	0.09	0.49	1.27	0.28	0.28	0.06	8.17	1.77		
H67	H70	0.98754	0.98771	0.99723	0.98929	0.2083	3.32	0.71	2.54	6.56	1.37	0.68	0.09	0.49	1.26	0.26	0.28	0.06	8.10	1.69		
H68	H71	0.98738	0.98756	0.99722	0.98918	0.2003	3.28	0.70	2.53	6.51	1.30	0.67	0.09	0.49	1.25	0.25	0.27	0.06	8.03	1.61		
H69	H72	0.98722	0.98740	0.99721	0.98906	0.1926	3.23	0.69	2.53	6.45	1.24	0.66	0.09	0.49	1.24	0.24	0.27	0.05	7.96	1.53		
H70	H73	0.98705	0.98724	0.99720	0.98894	0.1852	3.19	0.68	2.52	6.39	1.18	0.65	0.09	0.49	1.23	0.23	0.27	0.05	7.89	1.46		
H71	H74	0.98688	0.98706	0.99719	0.98881	0.1780	3.15	0.67	2.51	6.34	1.13	0.64	0.09	0.49	1.22	0.22	0.27	0.05	7.82	1.39		
H72	H75	0.98671	0.98691	0.99719	0.98869	0.1712	3.11	0.66	2.51	6.28	1.07	0.64	0.09	0.49	1.21	0.21	0.26	0.05	7.75	1.33		
H73	H76	0.98653	0.98674	0.99718	0.98856	0.1646	3.07	0.65	2.50	6.22	1.02	0.63	0.08	0.48	1.20	0.20	0.26	0.04	7.68	1.26		
H74	H77	0.98635	0.98656	0.99717	0.98842	0.1583	3.03	0.65	2.49	6.17	0.98	0.62	0.08	0.48	1.18	0.19	0.26	0.04	7.61	1.20		
H75	H78	0.98616	0.98638	0.99716	0.98829	0.1522	2.99	0.64	2.48	6.11	0.93	0.61	0.08	0.48	1.17	0.18	0.25	0.04	7.54	1.15		
H76	H79	0.98596	0.98619	0.99715	0.98815	0.1463	2.94	0.63	2.48	6.05	0.89	0.60	0.08	0.48	1.16	0.17	0.25	0.04	7.46	1.09		
H77	H80	0.98576	0.98599	0.99714	0.98801	0.1407	2.90	0.62	2.47	5.99	0.84	0.59	0.08	0.48	1.15	0.16	0.25	0.03	7.39	1.04		
H78	H81	0.98556	0.98579	0.99714	0.98786	0.1353	2.86	0.61	2.46	5.94	0.80	0.59	0.08	0.48	1.14	0.15	0.25	0.03	7.32	0.99		
H79	H82	0.98535	0.98559	0.99713	0.98771	0.1301	2.82	0.60	2.46	5.88	0.76	0.58	0.08	0.48	1.13	0.15	0.24	0.03	7.25	0.94		
合計							190.57	41.11	130.73	362.41	152.07	38.95	5.29	25.33	69.57	29.17	15.69	6.66	447.66	187.90		

B様式-6

走行時間短縮(年間)便益算定表

箇所名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

項 目	リンク延長 km	整備なしの走行時間費用				整備ありの走行時間費用				走行時間短縮便益			
		交通量 Qo(台)	走行時間 To(分)	時間価値 (円/台・分)	費用 BT(億円)	交通量 Qw(台)	走行時間 Tw(分)	時間価値 (円/台・分)	費用 BTw(億円)	交通量 ΔQ(台)	走行時間 ΔT(分)	便益 BT(億円)	
リンク1	乗用類	3,566			0.00	4,603	3.63	45.78	2.79	-4,603	-3.63	-2.79	
	小型貨物				0.00	993	3.63	47.91	0.63	-993	-3.63	-0.63	
	普通貨物車				0.00	1,558	3.63	64.18	1.32	-1,558	-3.63	-1.32	
	計				0.00	7,154	3.63	58.9km/h	4.74	-7,154	58.9km/h	-4.74	
リンク2	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	計				0.00				0.00	0	—	0.00	
リンク3	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	計				0.00				0.00	0	—	0.00	
リンク4	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	計				0.00				0.00	0	—	0.00	
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00	—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
	小型貨物		—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
	普通貨物車		—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
	計		—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
小計	乗用類	3,566	—	—	0.00	—	—	—	2.79	—	—	-2.79	
	小型貨物		—	—	0.00	—	—	—	0.63	—	—	-0.63	
	普通貨物車		—	—	0.00	—	—	—	1.32	—	—	-1.32	
	計		—	—	0.00	—	—	—	4.74	—	—	-4.74	
リンク1	乗用類	0.70	9,884	1.37	45.78	2.27	7,024	1.08	45.78	1.27	2,860	0.00	0.00
	小型貨物		2,307	1.37	47.91	0.55	1,658	1.08	47.91	0.31	649	0.00	0.00
	普通貨物車		1,955	1.37	64.18	0.63	977	1.08	64.18	0.25	978	0.00	0.00
	計		14,146	30.6km/h	—	3.45	9,659	38.9km/h	—	1.83	4,487	—	1.62
リンク2	乗用類	0.30	5,193	0.64	45.78	0.56	5,017	0.63	45.78	0.53	176	0.00	0.00
	小型貨物		1,474	0.64	47.91	0.17	1,411	0.63	47.91	0.16	63	0.00	0.00
	普通貨物車		585	0.64	64.18	0.09	542	0.63	64.18	0.08	43	0.00	0.00
	計		7,252	27.9km/h	—	0.81	6,970	28.4km/h	—	0.77	282	—	0.05
リンク3	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	計				0.00				0.00	0	—	0.00	
リンク4	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	0.00	
	計				0.00				0.00	0	—	0.00	
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00	—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
	小型貨物		—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
	普通貨物車		—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
	計		—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	—	0.00	
小計	乗用類	1.00	—	—	2.83	—	—	—	1.80	—	—	0.00	
	小型貨物		—	—	0.72	—	—	—	0.47	—	—	0.00	
	普通貨物車		—	—	0.72	—	—	—	0.33	—	—	0.00	
	計		—	—	4.26	—	—	—	2.59	—	—	1.67	
リンクA 国道398号	乗用類	0.90	9,200	2.48	45.78	3.82	5,512	1.65	45.78	1.52	586	0.06	2.29
	小型貨物		1,960	2.48	47.91	0.85	1,131	1.65	47.91	0.33	124	0.06	0.52
	普通貨物車		2,508	2.48	64.18	1.46	1,363	1.65	64.18	0.53	-39	0.06	0.93
	計		13,668	21.8km/h	—	6.13	8,006	32.7km/h	—	2.38	671	10.9km/h	3.75
リンクB (主)中田栗駒線	乗用類	2.90	2,131	5.80	45.78	2.07	1,693	5.80	45.78	1.64	438	0.00	0.42
	小型貨物		697	5.80	47.91	0.71	634	5.80	47.91	0.64	63	0.00	0.06
	普通貨物車		330	5.80	64.18	0.45	144	5.80	64.18	0.20	186	0.00	0.25
	計		3,158	30.0km/h	—	3.22	2,471	30.0km/h	—	2.48	687	0.0km/h	0.74
リンクC (主)古川佐沼線	乗用類	2.15	961	2.87	45.78	0.46	890	2.87	45.78	0.43	71	0.00	0.03
	小型貨物		310	2.87	47.91	0.16	277	2.87	47.91	0.14	33	0.00	0.02
	普通貨物車		394	2.87	64.18	0.26	349	2.87	64.18	0.23	45	0.00	0.03
	計		1,665	45.0km/h	—	0.88	1,516	45.0km/h	—	0.80	149	0.0km/h	0.08
その他計 (リンク数) 1,027	乗用類	1495.53	—	—	—	1,153.65	—	—	—	1,150.17	—	—	3.48
	小型貨物		—	—	—	296.25	—	—	—	295.53	—	—	0.72
	普通貨物車		—	—	—	533.04	—	—	—	530.58	—	—	2.46
	計		—	—	—	1,982.94	—	—	—	1,976.27	—	—	6.67
小計	乗用類	1501.48	—	—	—	1,159.99	—	—	—	1,153.76	—	—	6.24
	小型貨物		—	—	—	297.96	—	—	—	296.64	—	—	1.33
	普通貨物車		—	—	—	535.21	—	—	—	531.54	—	—	3.67
	計		—	—	—	1,993.17	—	—	—	1,981.93	—	—	11.24
計 (リンク数) 1,033	乗用類	1506.04	—	—	—	1,162.82	—	—	—	1,158.34	—	—	3.45
	小型貨物		—	—	—	298.68	—	—	—	297.74	—	—	0.70
	普通貨物車		—	—	—	535.93	—	—	—	533.19	—	—	2.35
	計		—	—	—	1,997.43	—	—	—	1,989.27	—	—	8.16

バイパス等及び国道の現道は代表リンクとする。
 その他のリンクA, B, Cは、便益の高いリンクを3つ選定し、路線名を記載する。
 各リンクのその他計には、リンク数及び合計延長も記入する。

B様式6(走行経費)

走行経費減少(年間)便益算定表(推計年度:H42)

箇所名:(主)築館登米線(宮城県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区))

項目	リンク延長 km	整備なしの走行経費				整備ありの走行経費				走行経費減少便益			
		沿道状況	交通量 Qo(台)	走行経費原単位 (円/台・km)	費用 BRo(億円)	沿道状況	交通量 Qw(台)	走行経費原単位 (円/台・km)	費用 BRw(億円)	交通量 ΔQ(台)	便益 BR(億円)		
バイパス	リンク1	乗用類	3.56km		0.00	平地部	4,603	9.95	0.59	-4,603	-0.59		
		小型貨物			0.00		993	13.34	0.17	-993	-0.17		
		普通貨物車			0.00		1,558	27.94	0.57	-1,558	-0.57		
		計			0.00		7,154	—	1.33	-7,154	-1.33		
	リンク2	乗用類		0.00				0.00	0	0.00			
		小型貨物		0.00				0.00	0	0.00			
		普通貨物車		0.00				0.00	0	0.00			
		計		0.00				0.00	0	0.00			
	リンク3	乗用類		0.00				0.00	0	0.00			
		小型貨物		0.00				0.00	0	0.00			
		普通貨物車		0.00				0.00	0	0.00			
		計		0.00				0.00	0	0.00			
リンク4	乗用類		0.00				0.00	0	0.00				
	小型貨物		0.00				0.00	0	0.00				
	普通貨物車		0.00				0.00	0	0.00				
	計		0.00				0.00	0	0.00				
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km	—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
	小型貨物		—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
	普通貨物車		—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
	計		—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
小計	乗用類	3.56km	—	—	0.00	—	—	0.59	—	-0.59			
	小型貨物		—	—	0.00	—	—	0.17	—	-0.17			
	普通貨物車		—	—	0.00	—	—	0.57	—	-0.57			
	計		—	—	0.00	—	—	1.33	—	-1.33			
現道	リンク1	乗用類	0.70km	市街地	9.884	市街地	7,024	23.63	0.42	2,860	0.19		
		小型貨物			2,307		24.19	0.14	1,658	23.37	0.10	649	0.04
		普通貨物車			1,955		45.54	0.23	977	42.14	0.11	978	0.12
		計			14,146		—	0.99	9,659	—	0.63	4,487	0.36
	リンク2	乗用類	0.30km	市街地	5.193	市街地	5,017	24.89	0.14	176	0.01		
		小型貨物			1,474		24.58	0.04	1,411	24.50	0.04	63	0.00
		普通貨物車			585		47.08	0.03	542	46.79	0.03	43	0.00
		計			7,252		—	0.21	6,970	—	0.20	282	0.01
	リンク3	乗用類			0.00				0.00	0	0.00		
		小型貨物			0.00				0.00	0	0.00		
		普通貨物車			0.00				0.00	0	0.00		
		計			0.00				0.00	0	0.00		
リンク4	乗用類			0.00				0.00	0	0.00			
	小型貨物			0.00				0.00	0	0.00			
	普通貨物車			0.00				0.00	0	0.00			
	計			0.00				0.00	0	0.00			
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km	—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
	小型貨物		—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
	普通貨物車		—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
	計		—	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00			
小計	乗用類	1.00km	—	—	0.76	—	—	0.56	—	0.20			
	小型貨物		—	—	0.18	—	—	0.14	—	0.05			
	普通貨物車		—	—	0.26	—	—	0.13	—	0.12			
	計		—	—	1.20	—	—	0.83	—	0.37			
その他のリンク	リンクA 国道398号	乗用類	0.90km	平地部	9,200	平地部	5,512	18.00	0.33	3,688	0.28		
		小型貨物			1,960		21.14	0.14	1,131	19.57	0.07	829	0.06
		普通貨物車			2,508		45.75	0.38	1,363	39.59	0.18	1,145	0.20
		計			13,668		—	1.12	8,006	—	0.58	5,662	0.54
	リンクB (主)中田栗駒線	乗用類	2.90km	平地部	2,131	平地部	1,693	18.35	0.33	438	0.09		
		小型貨物			697		19.87	0.15	634	19.87	0.13	63	0.01
		普通貨物車			330		40.83	0.14	144	40.83	0.06	186	0.08
		計			3,158		—	0.70	2,471	—	0.52	687	0.18
	リンクC (主)古川佐沼線	乗用類	2.15km	平地部	961	平地部	890	17.14	0.12	71	0.01		
		小型貨物			310		18.63	0.05	277	18.63	0.04	33	0.00
		普通貨物車			394		35.59	0.11	349	35.59	0.10	45	0.01
		計			1,665		—	0.28	1,516	—	0.26	149	0.03
その他計 (リンク数) 1027	乗用類	1495.53km	—	—	266.20	—	—	265.27	—	0.94			
	小型貨物		—	—	66.71	—	—	66.54	—	0.17			
	普通貨物車		—	—	164.69	—	—	164.01	—	0.68			
	計		—	—	497.60	—	—	495.81	—	1.78			
小計	乗用類	1501.48km	—	—	267.35	—	—	266.04	—	1.31			
	小型貨物		—	—	67.04	—	—	66.79	—	0.25			
	普通貨物車		—	—	165.32	—	—	164.34	—	0.97			
	計		—	—	499.70	—	—	497.17	—	2.53			
計 (リンク数) 1033	乗用類	1506.04km	—	—	268.11	—	—	267.20	—	0.91			
	小型貨物		—	—	67.22	—	—	67.10	—	0.12			
	普通貨物車		—	—	165.57	—	—	165.04	—	0.53			
	計		—	—	500.90	—	—	499.34	—	1.57			

その他は代表的(便益の大きい)な路線及びリンクを3つ選定する
 その他計にはリンク数と延長を必ず記入すること
 その他のリンクのリンクA~Cには必ず路線名を記入する
 計の交通量には、総走行台キロから逆算された値を記入する

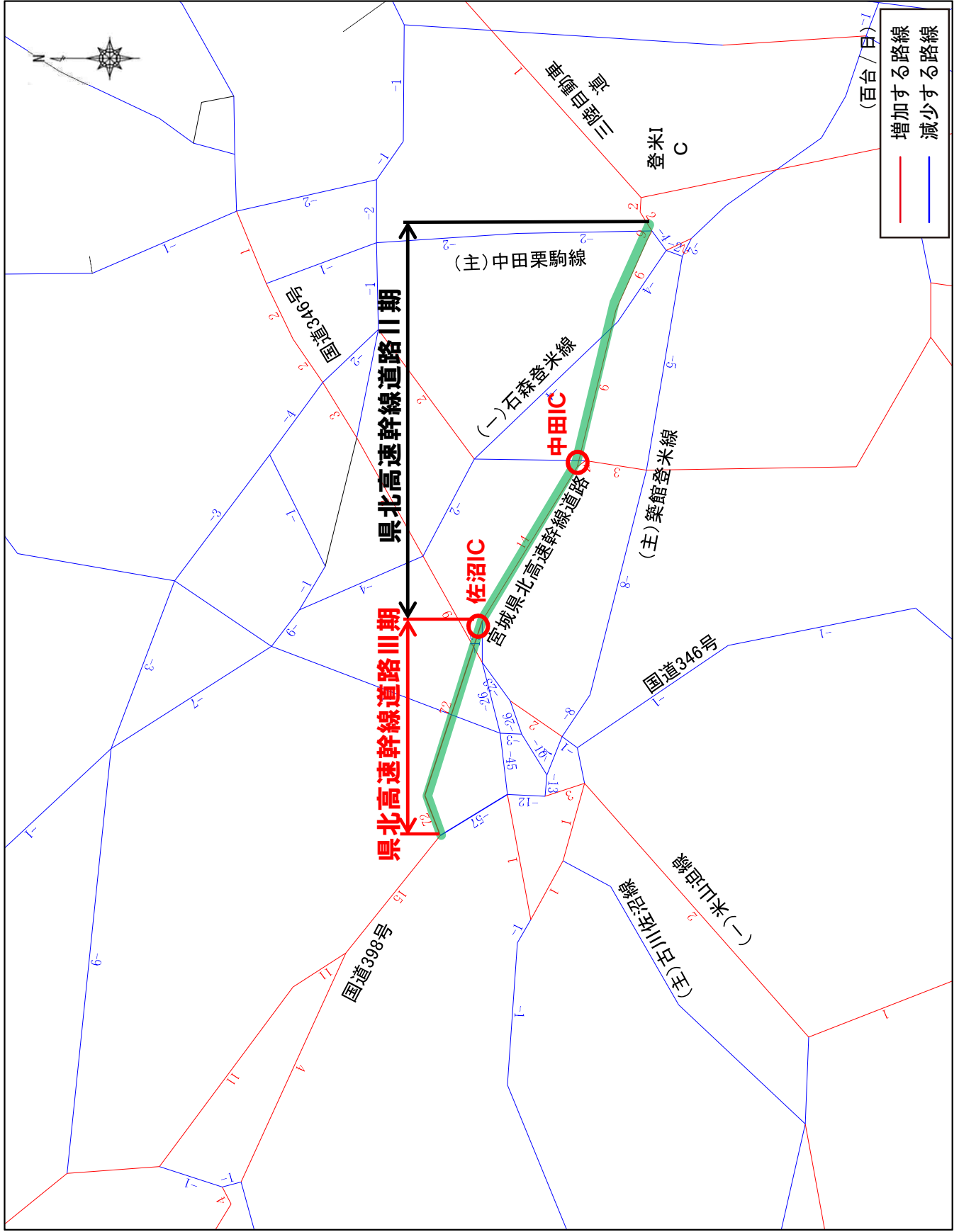
B様式6(事故)

交通事故減少(年間)便益算定表(推計年度:H42)

項 目	整備なしの交通事故損失				整備ありの交通事故損失				交通量減少便益									
	リンク延長 km	沿道状況	車線数	中央帯	沿道状況	車線数	中央帯	交通量 Qo(台)	費用 BAo(億円)	主要交差点数 Lo(箇所)	沿道状況	車線数	中央帯	交通量 Qw(台)	費用 BAw(億円)	主要交差点数 Lw(箇所)	交通量 △Q(台)	便益 BA(億円)
リンク1	3.56km							0	0.00		平地部	2	無	7,154	0.09	1	-7,154	-0.09
リンク2	0.00km						0	0.00						0	0.00		0	0.00
リンク3	0.00km						0	0.00						0	0.00		0	0.00
リンク4	0.00km						0	0.00						0	0.00		0	0.00
その他計 (リンク数) 0	0.00km	-	-	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-	0.00
小計	3.56km	-	-	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-0.09
リンク1	0.70km	市街地	2	無			14,146	0.24		1	市街地	2	無	9,659	0.17	1	4,487	0.08
リンク2	0.30km	市街地	2	無			7,252	0.08		1	市街地	2	無	6,970	0.07	1	282	0.00
リンク3	0.00km						0	0.00						0	0.00		0	0.00
リンク4	0.00km						0	0.00						0	0.00		0	0.00
その他計 (リンク数) 0	0.00km	-	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-	0.00	-	-	0.00
小計	1.00km	-	-	-	-	-	-	0.32	-	-	-	-	-	-	0.24	-	-	0.08
リンクA	0.90km	平地部	2	無			13,668	0.25		1	平地部	2	無	8,006	0.15	1	5,662	0.11
リンクB (主)中田栗駒線	2.90km	平地部	2	無			3,158	0.14		1	平地部	2	無	2,471	0.11	1	687	0.03
リンクC (主)古川佐沼線	2.15km	平地部	2	無			1,665	0.06		1	平地部	2	無	1,516	0.05	1	149	0.01
その他計 (リンク数) 1,027	1,495.53km	-	-	-	-	-	-	70.25	-	-	-	-	-	-	70.02	-	-	0.23
小計	1,501.48km	-	-	-	-	-	-	70.71	-	-	-	-	-	-	70.33	-	-	0.37
リンク数) 1,033	1,506.04km	-	-	-	-	-	-	71.03	-	-	-	-	-	-	70.66	-	-	0.36

その他は代表的(便益の大きい)な路線及びリンクを3つ選定する
 その他計にはリンク数と延長を必ず記入すること
 その他のリンクのリンクA~Cには必ず路線名を記入する

交通量差図(整備あり—整備なし)【県北III期】



宮行評委第9号
平成30年8月24日

宮城県知事
村井嘉浩 殿

宮城県行政評価委員会
委員長 堀切川 一



宮城県行政評価委員会公共事業評価部会
部会長 風 間



平成30年度公共事業再評価について (答申)

平成30年6月19日付け復政第25号で諮問のありましたこのことについて、行政評価委員会条例第6条第1項第3号及び同条第7項の規定により公共事業評価部会で審議した結果は、下記のとおりです。

なお、事業の実施に関する意見は、別紙のとおりです。

記

「事業継続」として県の評価を妥当とする事業

- 1 一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業
- 2 地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期（佐沼工区）道路改良事業
(以上2事業)

(別紙)

今後の事業の実施に関する意見

事業全般

事業の計画及び実施に当たっては、コスト縮減に努めるとともに、事業費の見積り精度を高めるために、各関係機関との事前協議などの手続を十分に行うなどして、事前精査に努めること。